



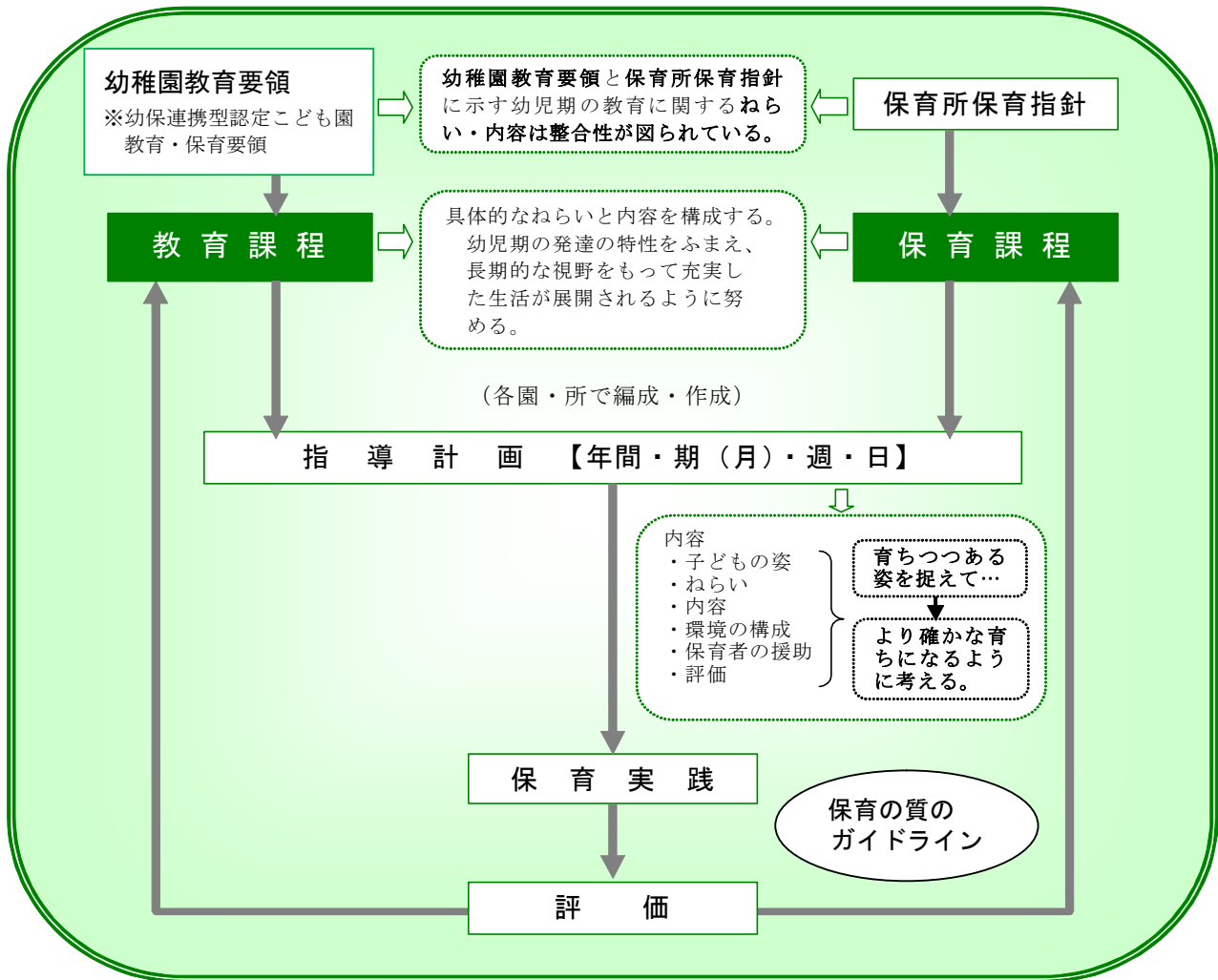
第Ⅲ部  
保育・教育課程

# 第Ⅲ部 保育・教育課程

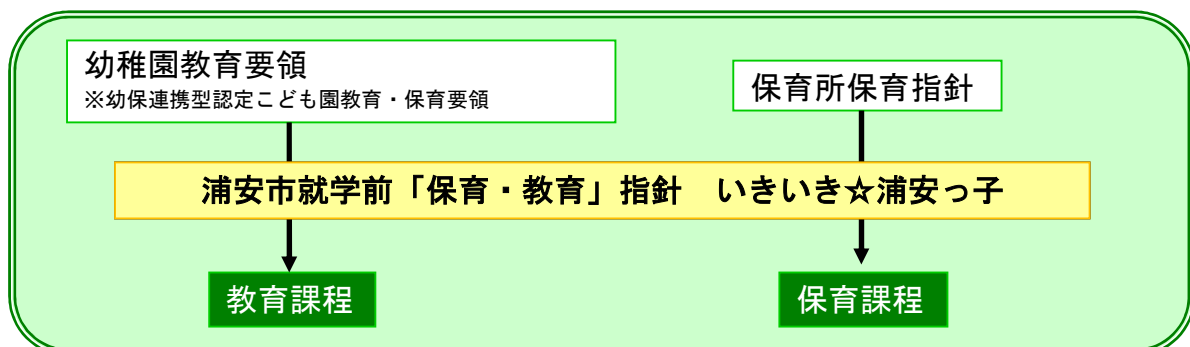
## 1 保育・教育課程の実践

保育所保育指針・幼稚園教育要領は、保育園・幼稚園・認定こども園の教育（保育）の基本と保育内容を示したものです。これをもとに各園が保育課程・教育課程を構成し、さらに具体的な指導計画を作成します。

それに基づいて保育を実践・評価して次の計画に反映させ改善を図ります。



### <就学前「保育・教育」指針 いきいき☆浦安っ子 の位置づけ>



## 2 保育・教育課程の見方

保育・教育課程の項目の見方は次のとおりです。

**浦安市の育てたい子ども像の視点**

- \* 【浦安市が育てたい3つの力】の視点から
  - ・熱中力
  - ・人間関係力
  - ・基礎生活力
- \* 【0～2歳児】の視点から
  - ・生活（主に養護の部分から・・・）
  - ・体（手、指、体の発達から・・・）
  - ・知的（体の発達から運動して・・・）
- \* 【3～5歳児】の視点から
  - ・心情（充実感、満足感を味わう・・・）
  - ・意欲（「～しようとする」・・・）
  - ・態度（物事への積極的な取り組み姿勢・・・）

**5歳児 発達過程 I期 (4月)**

<b>子どもの姿</b>	・進級した喜び ・新しい生活のルールを知り、守る	
<b>ねらい</b>	あげようという気持ちをもつよ ・気の合う友達や保育者と、好き ・新しい生活のルールを知り、守 ○新しい環境に自分からかわり ○自分のやりたい遊びをしたり、 だりしながら、クラスのつな ○年長児としての生活の仕方が分	
<b>経験する内容</b>	<b>心身の健康</b>	・戸外で体を動かして十分に遊ぶ。 ・安全に遊具や用具を使って遊ぶ。 ・園生活での決まりを確認し進んで
	<b>人とのかかわり</b>	・新しい保育者や友達に親しみをも ・異年齢の子どもに親しみをもつて
	<b>身近な環境とのかかわり</b>	・気の合う友達と一緒に、好きな遊びを ・鬼ごっこやゲームなどを友達と一緒に楽しむ。
	<b>言葉の獲得</b>	・身近な動植物に親しみ、触れたり、世話をしたりする。 ・身近な自然の変化に興味や関心をもつ。
	<b>感性と表現</b>	・自然物を遊びに取り入れて遊ぶ。 ・日常生活の中で目にするマークや表示の意味が分かり、文字や数に興味をもつ。 ・自分の気持ちや考えを伝えたり、相手の話を聞こうとしたりする。 ・友達と一緒に歌を取ったり、曲に合わせて踊ったりすることを楽しむ。 ・いろいろな材料を使って、自分のイメージに合わせて作るよとする。
<b>保育者の援助</b>	【環境の構成】 ・子どもたちと共に生活の場を作り、新しい約束事を作っていこうにする。 ・遊具や生活に必要なものの置き場は分かりやすく表示する。 ・自分のしたい遊びが、十分にできる時間と場所を保障していく。 ・友達と一緒にする楽しさが感じられるよう、クラス全体で活動する時間や ・園内外の安全衛生に十分配慮し、快適に過ごせるよう、生活の中で繰り返し ・園庭や近隣の公園の自然に触れる機会をもち、植物などにも興味や関心が向け 【保育者のかかわり】 ・進級した喜びに共感するとともに、緊張や戸惑いの気持ちも十分受け止め、 もって過ごせるようにする。 ・個人差を考慮し、一人一人の様子を把握して個々の情緒の安定を園り、好きな遊 り組めるようにする。 ・友達を意識できるような言葉かけをし、保育者が仲立ちとなって言葉を補ったりして、友 達との遊びが十分楽しめるようにする。 ・他クラスと連携をとりながら、異年齢の子どものかかわりをもてるようにする。	
<b>食育</b>	・挨拶や姿勢など、気持ちよく食事をするためのマナーに、子どもが自分で気づいたり、 正そうとしたりしている姿を認めながら、食事の楽しさを味わえるようにする。 ・子どもが自分で野菜を栽培する経験ができるよう、土や肥料・種・苗などを用意する。 ・植えた野菜に水やりをしたり、成長の様子を観察し、それを園庭で調べたりできるよ うな環境を整え、収穫を期待して大切に育てられるようにする。	
<b>家庭との連携</b>	・今年度のねらいや方針を懇談会やおたより等で家庭に伝え、理解を求め、園と家庭が同 じ気持ちで子どもにかかわってもらえるようにする。 ・子どもの様子を連絡帳や送迎時に伝え合い、保護者との信頼関係を築いていく。 ・進級することには、喜びだけでなく、戸惑いや不安を感じることもあることを伝え、共 感したり、励ましたりして、子どもの気持ちを支え合っていけるようにする。	

**「できる」「できない」「やる」「やらない」等の到達目標ではなく、内面に育つものです**

**領域からの視点も意識します**

**場の設定の工夫や遊び・教材の工夫**

**直接的な関わりや間接的な関わり**

**「経験する内容」「保育者の援助」は、次の視点から取り上げています。  
「全身・手指の動き」「基本的生活習慣」「食育」「安全保健教育」「規範意識」「人の話を聞く」「地域との連携」等**

**「食育」に関する援助・配慮点**

## 3 年齢ごとの期分け

年齢・学年		0歳～2歳		3歳～5歳		
		期	期	年齢・学年	期	
0歳		I	～56日「誕生の頃」	3歳	I	4月～6月上旬
		II	～3ヶ月「ねんねの頃」		II	6月上旬～9月上旬
		III	3ヶ月～「首がすわる頃」		III	9月上旬～10月下旬
		IV	6ヶ月～「おすわりの頃」		IV	10月下旬～12月
V	9ヶ月～「はいはいの頃」	V	1月～3月			
1歳		I	1歳～1歳6ヶ月未満	4歳	I	4月～6月上旬
		II	1歳6ヶ月～2歳未満		II	6月上旬～9月中旬
		III	2歳～2歳6ヶ月未満		III	9月中旬～10月中旬
		IV	2歳6ヶ月～3歳未満		IV	10月中旬～12月
V		V	1月～3月			
2歳		I	4月～6月上旬	5歳	I	4月～6月上旬
		II	6月上旬～9月上旬		II	6月上旬～9月中旬
		III	9月上旬～12月		III	9月中旬～10月下旬
		IV	1月～3月		IV	10月下旬～12月
V		V	1月～3月			

## 4 特色のある保育

### (1) 食育について

食は、子どもが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくために、また、子どもの健康増進のために重要です。各園では、食育の基本となる「知育・徳育・体育」の食育基本法を踏まえ、乳幼児期における望ましい食に関する取り組みを、積極的に進めることが求められています。

### 食育の推進

#### 体験的な食育と食の巡回

食物の栽培をしたり調理をしたり見たり触れたりする機会を通して、命を大切に作る気持ちや、調理してくれる人への感謝の思いが育まれるようにしていく。



<栽培した野菜でカレー作り>

#### 栄養士の専門性と食育計画

栄養士などの専門性を生かし、乳幼児期にふさわしい食習慣や態度が育まれるよう、食事の提供を含む、食育計画を全体的な計画（教育課程）に基づいて作成し、評価、改善に努める。

#### 食事を楽しむ

友達や保育者と一諸に和やかな雰囲気の中で食べる喜びや楽しさが感じられるようにすると共に、食への興味や関心が得られようにしていく。食育がわくように、活動のバランスを考える。



<調理員と交流>

#### 配慮が必要な子ども等の個別援助

嘱託医やかかりつけ医、専門職の指示や協力の下、一人一人の子どもの状態に応じて適切に対応する。  
全職員が、目標や内容、食物アレルギー等配慮すべき事項を共通理解し、誤食、誤飲の事故防止及び事故対応に努める。

#### 保護者と地域の連携

保護者との情報共有や地域の収穫体験、関係機関からの情報収集等、日頃から連携を重ね、様々な協力が得られるように努める。主体的かつ多様に連携、協働した取り組みを推進していく。

<幼稚園教育要領・保育所保育指針より一部引用>

#### 参考：「食に関する制度」

- 保育所における食事の提供ガイドライン（平成24年改正）
- 楽しく食べる子どもに（平成16年策定）
- 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（平成31年策定）
- 浦安市食育推進計画の推進 健康うらやす21（平成31年策定）

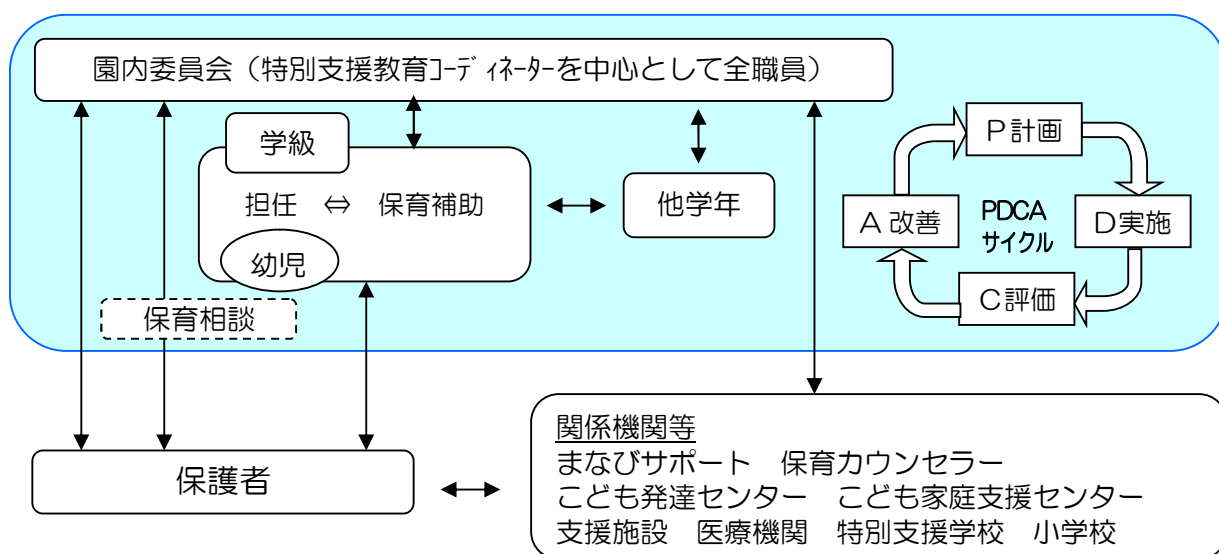
## (2) 特別支援教育について

特別に支援を必要とする子ども<sup>※</sup>の可能性を最大限に伸ばし、生活するために必要な生きる力の基礎を培うために、保護者や関係機関との連携を図りながら、一人一人の教育的ニーズを正確に把握・対応し、よりきめ細やかな保育・教育を行うことが大切です。そのためには、発達や支援を必要とする状況を把握し、子どもにとって最善は何かを追求し、集団生活をとおして成長することができるよう個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成することが必要です。計画の作成は、保護者と信頼関係を築きながら、保護者の子どもへの思いや願いを受け止め、支援方法を園と共通理解して作成していきます。

※特別に支援を必要とする子どもとは、「発達に課題がある」「障がいがある」「医療的ケアが必要である」等の乳幼児をさす。

### <支援体制> (保育園・幼稚園・認定こども園)

- 全職員の共通理解を図るとともに、関係機関等と連携しながら「特別支援教育」を行う。
- 一人一人の教育的ニーズへの対応と連続性のある「多様な学びの場」の構築を行う。



☆人的配置については、担任の補助として、保育園には**加配保育士**、幼稚園・こども園には**補助教員**を配置し、心身に障がいのある幼児の保育活動や生活面での支援を行っています。他にも、各園に配置されている**保育カウンセラー**と、保育者や保護者が相談できる体制も整えています。また、就学期については、教育研究センターの**まなびサポート**との連携のもと、小学校入学に向けてのスムーズな移行を支援しています。

公設公営の全保育園・市立全幼稚園・認定こども園では、副園長や主任教諭などを**特別支援教育コーディネーター**として位置づけ、園内や関係機関との連携協力を図っています。

#### <特別支援教育コーディネーターの役割>

- (1) 園内の関係者や医療・福祉などの関係機関との連絡・調整、保護者との関係づくりを行う。
- (2) 保護者に対する園の相談窓口となり、保護者を支援する。
- (3) 担任に対して、相談に応じたり、助言したりするなどの支援を行う。
- (4) 園内での適切な教育的支援につながるように、こども発達センターや教育研究センター(まなびサポート)などの専門の関係機関との連携を図る。
- (5) 園内体制の整備と、園内委員会が適切で円滑な運営がなされるよう推進役を担う。
- (6) 多様な教育ニーズに応じた保育者の専門性を高める研修会などの企画や運営を行う。

### (3) 特別な配慮が必要な家庭への支援について

#### ① 海外から帰国した幼児等の園生活への適応

国際化の進展に伴い、海外から帰国した子どもや外国籍の子どもに加え、国際結婚など、多様な文化や外国にルーツをもつ子ども一人一人に寄り添う援助が必要です。

(留意すべき事項)

- 海外から帰国した幼児や生活に必要な日本語の習得に困難のある幼児については、安心して自己を発揮できるように配慮するなど個々の子どもの実態に応じ、指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行います。
- 子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるようにします。

(保育の中で配慮する点等)

- ・異文化における生活経験、在留国や母国の言語的・文化的背景、さらには家庭の保育・教育方針の違いなど、一人一人の実態を把握します。
- ・指導方法や指導内容の工夫を組織的かつ計画的に行うとともに、全職員で共通理解を深め、子どもと保護者に関わる体制を整えます。
- ・保育者は、その子どもが暮らしていた国を理解しようとする姿勢を保ち、簡単な挨拶等母国語を使用したり、スキンシップをとったりしながら信頼関係を築き、子どもの安心感につなげていきます。
- ・保育者は、子どもや家庭の多様性を積極的に認め、子ども同士が互いに尊重し合える雰囲気作りに努める中で、一人一人がかけがえのない存在であるということに気付くよう促していきます。

#### ② 虐待が疑われる家庭および貧困家庭への支援

虐待等が疑われる場合には、園は速やかに関係機関に通告し、適切な対応を図ることが必要である。また、子どもの貧困については、子ども自身の自己肯定感が低くなることを防ぐためにも、早期に気づき対応する必要があります。

(留意すべき事項)

- 虐待が疑われる場合には、園と保護者との間で子育てに関する意向や気持ちにずれや対立が生じうる恐れがあることに留意します。貧困家庭への対応については、関係機関とつなぐ際に、子どもと保護者の自尊心を傷つけない等の配慮が必要です。

(保育の中で配慮する点等)

- ・日頃から保護者との接触を十分に行い、保護者と子どもとの関係に気を配り、気づきの目を養う。さらに、市や関係機関との連携の下に、子どもの最善の利益を重視して支援を行います。
- ・貧困については、外見だけでは判断できないことが多い。保育者は、このことを正しく理解し、目の前の事実だけに目を向けるのではなく、子どもや保護者の気になる姿の背景にあるものを読み取ろうとする視点をもつことが大切です。

## 5 浦安市の保育・教育課程

0歳児 発達の過程

I期「誕生の頃」( ~ 56日 )

<p>子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眠っている時間が長い。眠りの間隔は短く、昼と夜の区別がはっきりしない。</li> <li>・泣きの理由は眠り、空腹、排泄など生理的なものがほとんどである。</li> <li>・へその緒は生後1～4週間でとれる。</li> <li>・生後2、3日頃から新生児黄疸が見られる場合がある。</li> <li>・体温調節機能がまだうまくいかず、周りの温度に左右される。</li> <li>・動きが活発になり、裸にすると手足をよく動かす。</li> <li>・握ったものを少しの間持つことができる。</li> <li>・音は聞こえている。(大人が話しかける言葉を聴いている)</li> <li>・明るい、暗いはわかり明るい方を見ようとする。</li> <li>・物の輪郭はぼんやり見え、特に人の顔はよく見える。</li> <li>・生理的な微笑が見られる。</li> <li>・機嫌の良い時「あーあー」「うっくん」などの声を出すようになる。</li> </ul>
<p>室内環境のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔で静かで、安心して眠れる環境をつくる。</li> <li>・ベッドのまわりに物を置かないように、また、赤ちゃんの顔にかぶるような物を近くに置かないようにし、安全に気をつける。</li> <li>・常に眠っている子どもの様子が見えるようにする。</li> <li>・体温調節が未熟で筋肉や皮下脂肪が薄く、汗腺の発達が不十分であるため室温、湿度、寝具、衣服など快適な環境に配慮する。 * 冬は20℃前後 夏は26℃前後、外気温との差が5℃以内が望ましい。湿度は50%前後。</li> </ul>

### 家庭へのアドバイス

- ・泣きの理由は「眠り」「空腹」「排泄」「暑い」「寒い」など生理的なものがほとんどです。声をかけたり抱っこしたりしてあげることで安心します。
- ・母乳やミルクをあげる時はゆったりした気持ちであげるようにしましょう。
- ・生後一カ月前後くらいから天候の良いときや赤ちゃんの機嫌の良いときには外気にふれさせ、気道の粘膜を鍛えましょう。
- ・SIDS(乳幼児突然死症候群)の予防のために、以下のことをこころがけましょう。
  - \* 仰向けで寝かせる。
  - \* 赤ちゃんを一人にしない。
  - \* 赤ちゃんのそばで喫煙しない。
- ・ゆさぶり症候群の予防のために、激しく揺さぶったり大きな衝撃を与えたりしないようにしましょう。
- ・眠っている時間が長い時期です。機嫌よく目覚めている時は赤ちゃんと目を合わせて微笑みかけたり話しかけたりしましょう。

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お腹が空くと泣く。 ・オムツが濡れると泣く。</li> <li>・うつぶせにするとあごを上げる。 ・体重、身長が増加が大きい。</li> <li>・自分の手を見つめる。 ・物を目で追う。</li> <li>・音のする方を向く。 ・見つめ合い（アイコンタクト）が成立する。</li> <li>・目が合うと笑みを浮かべる。（社会的微笑）</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の生活リズムで安定して気持ちよく過ごす。</li> <li>○保育者とのかかわりの中で心地よさを感じ、親しみと安心感を味わう。</li> </ul>
経験する内容	生命の保持・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抱かれてミルクを飲む。飲んだ後、排気をする。</li> <li>・オムツを替えてもらい、気持ちよく過ごす。</li> <li>・安心して寝入ったり、目覚めたりする。</li> <li>・外気に触れる心地よさを味わう。</li> <li>・うつぶせで頭を持ち上げる。</li> <li>・手に触れたものを握ろうとする。</li> <li>・動くものを目で追ったり、音のする方に顔を向けたりする。</li> <li>・あやされると声を出したり、微笑んだりし、四肢を動かす。</li> <li>・目の前にいる人の顔をじっと見る。</li> </ul>
	健やかにのびのびと育つ	
	身近な人と気持ちが通じ合う	
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生活のリズムに合わせて安心して眠れる環境を整える。（室温・湿度・換気・採光）</li> <li>・明るく心地よさと安らぎのある空間を整えると共に見たり、聞いたり、触ったりできる玩具を身近な環境の中に取り入れる。</li> <li>・うつぶせ寝は避け、顔の周りに布団や物（スタイ等）がなく、正常に呼吸ができる状態をつくる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>目で追って楽しめる遊び</b>            オルゴールメリー・モビール         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>情緒の安定を図る遊び</b>            子守唄・あやし遊び（いないいないばあ）         </div> </div>
	【保育者のかかわり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体機能が未熟で病気にかかりやすく、生命の危機に陥りやすいため、体の急激な変化に対応できるように、一人一人の子どもの状態を十分に観察する。</li> <li>・優しく微笑みかけたり、静かな声で語りかけたりなど、視覚、聴覚に働きかけ、一人一人に合わせた表情や言葉、動きで相手をし、愛着関係を築く。</li> </ul>

食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆったりとした雰囲気の中で、目と目を合わせ優しく言葉をかけながら授乳し、安心して飲めるようにする。</li> <li>・授乳後は、ゲップがでるまで抱いて過ごす。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や送迎時に子どもの様子を伝え合い、相互理解を深めると共に保護者の不安を取り除き、信頼関係を築いていけるようにする。</li> <li>・SIDS（乳幼児突然死症候群）やゆさぶり症候群について正しい知識を知らせる。</li> </ul>



子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼と夜の区別がはっきりしてきて睡眠と授乳、遊びのリズムが安定してくる。</li> <li>・首がすわる。</li> <li>・寝返りをする。</li> <li>・見た物に手を伸ばす。</li> <li>・物や人の動きを目で盛んに追う。</li> <li>・口を動かして声を出す。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の心地良い生活リズムで安心して過ごす。</li> <li>○寝返りや腹這いの姿勢などで、それぞれの発達にあった活動を十分に行う。</li> <li>○盛んに喃語を発し、声を出すことを楽しむ。</li> <li>○安心できる環境のもとで聞いたり、見たり、触ったりできる玩具で遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
経験する内容	生命の保持・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健やかにのびのびと育つ</li> <li>・身近な人と気持ちが通じ合う</li> <li>・身近なものとかかわり感性が育つ</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼と夜の区別がはっきりしてきて一定の時間眠る。</li> <li>・外気浴、ベビーマッサージで心地よさを感じる。</li> <li>・腹這いの姿勢で手足を動かして遊ぶ。</li> <li>・動くものを目で追い、手を伸ばして握ろうとする。</li> <li>・指を口に入れたり、手に触れたものを見たりなめたりして確認する。</li> <li>・声や泣き声で要求を表す。</li> <li>・慣れた大人には自分から微笑みかけ、喃語で話そうとする。</li> <li>・あやされたり声をかけられたり、優しい語りかけや喃語に伝えてもらうことで、保育者に親しみ安心感をもつ。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝返り、腹這いの姿勢などで全身運動が安全にできるように環境を整える。</li> <li>・遊具などは子どもの発達に適したものを選び触ったりなめたりしても安全なものを用意する。</li> <li>・清潔で安心して眠りにつけるような環境を整える。(室温、換気、採光、湿度、寝具など)</li> </ul>
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>手や指、体の機能の発達を促す玩具</b> プレイジム・握り玩具・がらがら・歯固め</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>情緒の安定を図る遊び</b> 子守唄・あやし遊び（じいじいばあ）</p> </div> </div>
	【保育者のかかわり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心地よい姿勢で遊ばせながら、寝返りや腹這いの機会をできるだけ多くつくるようにする。</li> <li>・笑ったり泣いたりする子どもの状態に優しく応え、発声に回答しながら喃語を育む。</li> <li>・一人一人の健康状態を十分観察し、異常のある場合には適切に対応する。</li> <li>・優しくあやされたり、目を見て語りかけられたりする心地よさを味わえるように、1対1の関わりを大切にする。</li> </ul>

食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分補給として、白湯、麦茶を飲ませる。</li> <li>・母乳以外の味や哺乳瓶の感触に慣れるようにする。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SIDS（乳幼児突然死症候群）について注意を促し、事故が起きないように知らせる。</li> <li>・微笑や言葉かけなど大好きな大人との関わりや、スキンシップなどの日々の心地よい体験が子どもの心の安心、安定につながることを伝える。</li> <li>・育児に対する不安や戸惑いを受け止め、保護者の話を聞くことでコミュニケーションを図る。</li> <li>・安定した生活リズムをつくっていくことの大切さを伝える。</li> </ul>

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠時間が定まってきて、食事、睡眠、遊びのリズムが安定する。</li> <li>・おすわりができるようになる。寝返り、腹這いの姿勢で移動する。</li> <li>・手でおもちゃを持つ、振る、持ち替える。</li> <li>・慣れない人に人見知りをする。</li> <li>・「マンマンマン」、「ダダダ」などの喃語を話す。</li> <li>・離乳食を食べ始める。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○姿勢を変えたり、移動したり体全体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○保育者と十分に関わり、欲求を受け止めてもらうことで、親しみをもち安定して過ごす。</li> <li>○離乳食を食べ始め、スプーンに慣れる。</li> </ul>
経験する内容	生命の保持・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生活リズムで安定して眠る。</li> <li>・離乳が進み、少しずつ食べる量が増え、いろいろな食品の味や形態に慣れる。</li> <li>・腹ばいでお腹を軸に回ったり、後ずさりをしたり、おすわりをしたりなどいろいろな姿勢になる。</li> <li>・おもちゃを振ったり、たたいたり、落とすなどして遊ぶ。</li> <li>・親指と人差し指で小さなものを掴む。</li> <li>・手に触れたものをなめて、確認する。</li> <li>・機嫌の良い時は、さかんに喃語で話し、遠くにいる人を呼ぶように声を出す。</li> <li>・不快な時は泣いて欲求を訴える。</li> <li>・人見知りをしたり、親しみを持っている人の後を追ったりする。</li> </ul>
	健やかにのびのびと育つ	
	身近な人と気持ちが通じ合う	
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢を変えたり移動したり様々な身体活動を十分行えるように安全で活動しやすい環境を整える。周りにマット等を置き、転倒時の安全を考慮する。</li> <li>・周りのものへの関心が広がり、触れる、なめる、打つなど物への関心が高まるような環境を作る。</li> <li>・なめた玩具は水洗いなどして清潔に保つ。</li> <li>・子どもの手の届くところに危険なものを置かないようにする。</li> <li>・誤飲などを避けるために、口や鼻に入らないよう玩具の大きさ等に配慮する。</li> </ul>
	【保育者のかかわり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症にかかりやすい時期なので一人一人の健康状態を十分に観察し、適切に対応する。</li> <li>・喃語に込められている要求や気持ちをしっかり受け止めて応じるようにする。</li> <li>・緩やかな担当制等、特定の保育者との関わりを多くもち、不安、甘え等の気持ちを受け止め、優しく対応し、愛着関係を築けるようにする。</li> </ul>

**手や指、体の機能の発達を促す玩具**

- ・ガラガラ・おきあがりこぼし
- ・プレイボード

**情緒の安定を図る遊び**

- ・わらべうた・ふれあい遊び（うまはとしとし）

食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンを下唇にのせ、上唇で食べ物を自分で取り込めるようにする。食べ物を口に入れたら、唇を閉じたまま、顎を上下に動かすことを保育者が見せ、知らせる。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食は家庭との連携を大切にアレルギーに配慮しながら無理なく進め、食べようとする気持ちが育つようにする。</li> <li>・母体からの免疫がなくなり、病気にかかりやすくなるので、食欲、睡眠、排泄等子どもの健康状態に変化が見られた時は丁寧に伝える。</li> <li>・予防接種、感染症等の情報を知らせる。</li> <li>・人見知りは、成長過程であり、愛情関係ができているからこそのことなので、十分受け止めるよう伝える。</li> </ul>

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食を手づかみで食べる。</li> <li>・ハイハイ、つかまり立ち、伝い歩きをする。</li> <li>・指先で物をつまむ。</li> <li>・手差し、指差しをして声を出す。</li> <li>・模倣をする。</li> <li>・自分の名前や「マンマ」「バイバイ」など音声と対象が結びつく。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○はいはい、つかまり立ちなど、体全体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○身の回りのものに興味や関心をもち、探索活動を楽しむ。</li> <li>○大人と一緒に遊びながら、簡単な動作や言葉のやり取りを楽しむ。</li> </ul>
経験する内容	生命の保持・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定時間安定して眠る。</li> <li>・離乳が進み、食べるものの種類が増え、自分から食べようとする。</li> <li>・天気の良い日は戸外で過ごす。</li> <li>・おすわり、つかまり立ち、伝い歩き、立つ、歩くなど一人一人の発達にあった動きをする。</li> <li>・つまむ、たたく、引っ張るなど手や指を使って遊ぶ。</li> <li>・生活や遊びの中で、身近な保育者のすることに興味をもち、模倣したりすることを楽しむ。</li> <li>・喃語や片言を優しく受け止めてもらい、発語や保育者とのやり取りを楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に砂や水の感触を楽しむ。</li> <li>・他児の様子をじっと見つめたり、動きを目で追ったりする。</li> <li>・身の回りの生活用品に興味をもち、触ったり、遊んだりする。</li> </ul>
	健やかにのびのびと育つ	
	身近な人と気持ちが通じ合う	
保育者の援助	身近なものとかかわり感性が育つ	
	<p>【環境の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長い距離をたくさん這えるようになり行動範囲が広がるので、危険のないように環境整備をする。（不安定なものや角のあるものは置かない）</li> <li>・自分から「行ってみたい」「触れてみたい」と感じるように、玩具類に変化をもたせたり、工夫したりする。</li> <li>・誤飲、誤食を避けるため、口に入れて危険なものは手の届く所に置かない。</li> <li>・生活の流れに合わせて、少しずつ時間差をつけて活動する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>手や指、体の機能の発達を促す玩具</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェーン入れ・穴落とし・ソフト積木・ラッパ</li> <li>・カラートンネルなど</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>情緒の安定を図る遊び</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わらべうた、ふれあい遊び（一本橋こちょこちょ）</li> </ul> </div> </div> <p>【保育者のかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが表現したことを受け止め、優しく、ゆっくり、はっきりと応えたり、話しかけたりする。</li> <li>・ボール転がしやリズム遊びなど、1対1のやり取りを楽しめるようにする。また、安定している時は見守る。</li> <li>・伝い歩きが始まるが、這うことも十分に経験できるようにする。</li> <li>・子どものやりたい気持ちを大切にして、安全な環境を整え、すぐに対応できるようそばで見守る。</li> </ul>	
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手づかみ食べを認め、自分で食べる意欲を育てる。</li> <li>・遊び食べも1つの過程とし、ゆったりと関わるようにする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食の進め方や献立、味付けなどの工夫の仕方を伝える。</li> <li>・行動範囲が広がるので、手の届くところに危険なものを置かないことを知らせる。</li> <li>・はいはいを十分に経験することの大切さを伝える。</li> <li>・はいはい、つかまり立ち、立つ、歩くなどめざましい発達をする時期なので、小さな変化も保護者に伝え、成長を共感し合う。</li> </ul>	

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳が完了し、幼児食を食べる。</li> <li>・保育者に手伝ってもらいながら、スプーンを持って食べる。・一定時間眠る。</li> <li>・伝い歩きから一人歩きをする。</li> <li>・つまむ、たたく、引っばるなど手や指を使う。</li> <li>・欲しいものを指差しする。・保育者の言うことが分かるようになる。・片言を言う。</li> <li>・自分から人や物と関わろうとする。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○食事、睡眠など生活のリズムが安定する。</li> <li>○安全で活動しやすい環境の中で、自由に体を動かすことを楽しむ。</li> <li>○身の回りの様々なものを触って遊び、好奇心や関心をもつ。</li> <li>○保育者との信頼関係が深まる中で、自分の気持ちを安心して表す。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で十分遊ぶ。</li> <li>・保育者に手伝ってもらいながら、スプーンを持って食べようとする。</li> <li>・保育者と一緒に手洗いをしようとする。</li> </ul>
	人とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オムツが汚れていたら知らせようとしたり、濡れていない時は、便器に座ってみたりする。</li> <li>・保育者の側で安心して眠る。</li> </ul>
	身近な環境とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シールを貼るなど、つまんだり握ったりする。</li> <li>・保育者に気持ちを受け止めてもらい、親しみと安心感をもつ。</li> <li>・保育者の行動に関心をもち、生活や遊びの中で簡単な模倣をする。</li> <li>・普段使用している場所や自分の物が分かる。</li> <li>・欲しいものを指差しや身振りで伝えようとする。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名前を呼ばれると返事をする。</li> <li>・保育者と一緒に水、砂、紙など身近な素材に触れる。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数人の子どもや保育者と一緒に歌やリズムに合わせて体を動かすことを喜ぶ。</li> <li>・絵本を読んでもらうことを喜ぶ。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人遊びがじっくりできるよう、空間を工夫する。</li> <li>・いろいろな感触の物で遊べるよう素材を用意する。</li> <li>・探索活動が十分にできるよう安全に配慮する。</li> <li>・室内のおもちゃや用具を清潔に保つ。</li> </ul>
	【保育者のかかわり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自分からしてみようという姿を大切にし、温かく見守る。</li> <li>・模倣する時期を意識し、動作をゆっくりと大きく分かりやすくする。</li> <li>・一人一人の子どもとのかかわりを十分にもち、信頼関係を築く。</li> <li>・子どもが発する言葉に丁寧に応答し、やりとりを楽しめるようにする。</li> </ul>

## 目と手の協応、手指の機能の発達のために

- ・引っ張る玩具・乗り物玩具・絵本
- ・小麦粉粘土・マジックテープ
- ・プレイボード・積み木

食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で食べようとする姿を見守りながら、食べやすい量をスプーンに乗せたり、様子を見て食べさせたりする。</li> <li>・「おいしいね。」と笑顔で言葉をかけ、楽しく食事ができるようにする。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲にある物への興味、関心の広がりから「いたずら」と見える行動が増えるので、身の回りの安全には十分気を配り、危険なことをしたときには、いけないことを分かりやすく話すように伝える。</li> <li>・食事のしつけの始まりの時期であることを知らせていく。(嚙むこと・楽しく食べること)</li> <li>・子どもの発見や喜びに共感したり、思いを汲み取って、言葉に代えたりすることが大切であることを伝える。</li> </ul>

<b>子どもの姿</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手を添えながらスプーンを使って食べる。</li> <li>・手伝ってもらいながら簡単な衣類を脱ぐ。</li> <li>・歩行が安定する。</li> <li>・なぐり描きをする。</li> <li>・積み木を並べたり積んだりする。</li> <li>・単語や2語文を話す。</li> <li>・友達や保育者のやっていることを真似て遊ぶ。</li> <li>・自己主張が強くなる。</li> </ul>	
<b>ねらい</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心できる保育者のもと身の回りの簡単なことをやろうとする。</li> <li>○探索活動を楽しみながら、いろいろなものに触れて興味関心を示す。</li> <li>○保育者の話しかけや、発語が促されたりすることにより、言葉を使うことを楽しむ。</li> <li>○保育者や友達の真似をして遊ぶ。</li> </ul>	
<b>経験する内容</b>	生命の保持・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンを使って自分で食べようとする。</li> <li>・保育者の言葉がけで、便器に座る。</li> <li>・簡単な衣類を自分で脱ごうとする。</li> <li>・歩く、登る、下りるなど体を使って遊ぶ。</li> <li>・ページをめくったり紙を破いたりする。</li> <li>・クレヨンなどで、なぐり描きをする。</li> <li>・友達や保育者のやっていることを真似て遊ぶ。</li> <li>・保育者との関わりの中で、自分の気持ちを安心して表す。</li> <li>・玩具を出して遊んだり、保育者と一緒に片付けたりする。</li> <li>・保育者の言葉かけが分かり、行動しようとする。</li> <li>・保育者と一緒に簡単な挨拶をする。</li> <li>・絵本やお話を見たり聞いたりして繰り返しのある言葉を楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、体を動かす。</li> </ul>	
	心身の健康		
	人とのかかわり		
	身近な環境とのかかわり		
	言葉の獲得		
感性と表現			
<b>保育者の援助</b>	<p>【環境の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが思うままに動きたい気持ちを満足させるための探索活動がたくさんできるように室内外の環境を整える。</li> <li>・いろいろな動きができるような遊具を用意する。</li> <li>・危険物を点検し、安全な環境を整える。</li> </ul>	<p><b>手指の機能の発達のために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・型はめ・パズル</li> <li>・クレヨン</li> </ul>	<p><b>つもり遊びのために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶碗 ・皿</li> <li>・エプロン</li> </ul>
	<p>【保育者のかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士のトラブルが多くなるが、一人一人の気持ちを受け入れ、優しく語りかけ対応することにより、互いの存在に気付くようにする。</li> <li>・子どもの発見や驚きを受け止め、好奇心や興味を満たし共有できるようにする。</li> <li>・子どもの言おうとしている言葉を察し、受け入れ、代弁していく。</li> </ul>		

<b>食育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと一緒に手洗いをして、「きれいになったね。」と声をかけ、清潔にする気持ちよさを知らせる。</li> <li>・食べようとする意欲を大切にしながら、そばについてスプーン、フォークの持ち方を知らせていく。</li> </ul>
<b>家庭との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差の大きい時期なので、一人一人の発育、発達状況に合わせて対応していくことの大切さを伝える。</li> <li>・片言の話に应答したり会話したりすることが、言葉の獲得につながっていくことを伝える。</li> <li>・子どもの成長の表れとして、「いやだ、いやだ」と言うことが多くなることもあるが、子ども自身が選んで決められるように「どうしたいのか」「どっちがいいのか」と聞くことが大事だと伝える。</li> </ul>

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こぼしながらもスプーンを使って一人で食べる。</li> <li>・尿が出た時に知らせる。</li> <li>・簡単な衣類を自分で脱ぐ。</li> <li>・つま先たち、走る、よじ登る、跳ぶことができる。</li> <li>・ぐるぐる描きをする。</li> <li>・ちぎったり、ねじったりする。</li> <li>・「これ、なあに」などの質問をする。</li> <li>・一方的な要求には「いや」という。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者に手伝ってもらいながら身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>○体を十分に動かして遊ぶ。</li> <li>○自分の要求を言葉で伝えようとする。</li> <li>○身近な自然に触れ、興味関心をもつ。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンを使ってほとんど一人で食べようとする。</li> <li>・排尿、排便をしぐさや言葉で知らせる。</li> </ul>
	人とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な衣類は自分で脱ごうとしたり、保育者に手伝ってもらいながら着ようとしたりする。</li> </ul>
	身近な環境とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走ったり、跳んだりしながら戸外で遊ぶ。</li> <li>・粘土をちぎったり、丸めたりと手先を使う遊びを楽しむ。</li> <li>・見立て遊びや、つもり遊びをする。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や遊びの中で色や形に興味をもつ。</li> <li>・身近な小動物や自然物に興味をもつ。</li> <li>・保育者や友達の名前を言おうとする。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを言おうとする。</li> <li>・簡単な歌やリズム遊びを楽しむ。</li> <li>・生活や遊びの中で経験した事を再現する。</li> </ul>
保育者の援助	<p>【環境の構成】・走ったり、跳んだりできる遊びや場所を用意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が好きな遊びを見つけられるように、いろいろな遊びの種類やコーナーを用意する。</li> <li>・見立て遊びに必要な用具を用意する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>手指の機能の発達のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦粉粘土・のり・ひも通し</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>見立て遊びのために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック・木製電車</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>体を動かして遊ぶために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追いかっこ・巧技台</li> </ul> </div> </div>	
	<p>【保育者のかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着替えは取りかかりやすいよう途中まで手伝ったり、衣服を広げたりしておく。</li> <li>・衝動的な動きが多くなるので、子どもから目を離さないようにする。</li> <li>・自分の思いを通そうとしてトラブルになった時には、お互いの気持ちを受け止め、わかりやすい言葉で仲立ちをして、友だちとの関わり方を知らせていく。</li> <li>・子どもの話は優しく受け止め、自分から話したいという気持ちを大切に、楽しんで言葉を使うことができるようにする。</li> <li>・身の回りの自然に気付けるよう知らせたり、子どもの発見と一緒に喜んだりする。</li> </ul>	
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と、食前食後にしぐさや言葉で挨拶をする習慣を身につけていく。</li> <li>・スプーンやフォークを使って、こぼしながらも自分で食べようとする姿を認めていく。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に運動遊びが出来るように、活動しやすい衣服や靴を用意してもらうように伝える。</li> <li>・子どもは、なんでも自分でやりたがったり自己主張したりする一方で、まだ自己コントロールが難しいため、大人を困らせることが多くなる。しかし、そのような姿は発達の道筋であり、子どもの成長として受け止められるよう伝える。</li> </ul>	

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンを使ってほとんど一人で食べる。</li> <li>・トイレに行き排泄する。</li> <li>・保育者に手伝ってもらいながら衣類を着脱する。</li> <li>・片足立ちや両足をそろえて跳ぶ。</li> <li>・積み木で形のあるものを作る。</li> <li>・「どうして」などの質問をする。</li> <li>・なんでも自分でやろうとするが、思い通りにならずイライラする。</li> <li>・見立て、つもり遊びをする。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>○全身や手指を使った遊びを楽しむ。</li> <li>○保育者や友達と簡単なやり取りや模倣遊びをする。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食器に手を添えて一人で食べようとする。</li> </ul>
	人とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の言葉かけでトイレに行き、見守られて排泄する。</li> <li>・簡単な衣類は自分で着脱する。</li> </ul>
	身近な環境とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身を使って遊ぶ。</li> <li>・見立て遊び、つもり遊びなど、保育者と一緒に楽しむ。</li> <li>・生活や遊びの中で色や形に興味をもったり、物の大小に気付いたりする。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な言葉のやり取りを楽しむ。</li> <li>・簡単な繰り返しのある絵本を楽しむ。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて体を動かし、自分なりの動きを楽しむ。</li> </ul>
保育者の援助	<b>【環境の構成】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見立て遊びが楽しくなるような用具を用意する。</li> <li>・体を使った遊びが十分に楽しめるように危険物を点検し、安全な環境を整える。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <b>手指の機能の発達のために</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・のり・粘土・ボタンはめ</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <b>見立て遊びのために</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ままごと道具・バッグ</li> <li>・積み木</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <b>体を使った遊びのために</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール・追いかっこ</li> </ul> </div> </div>	
	<b>【保育者のかかわり】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことは自分で行えるよう時間設定を十分にする。</li> <li>・周りの子どもとの触れ合いが多くなり、自我のぶつかり合いも見られるようになるため、相手の気持ちに気付けるようにしていく。</li> <li>・つもり遊びの中に保育者も入り、子ども達のイメージが合うようにしていき、子ども同士のかかわりが上手くもてるようにする。</li> </ul>	
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これなあに」などの子どもの言葉に応答したり、「これおいしいよ」と保育者が食べる姿を見せたりして、いろいろな食べ物に興味をもてるようにしていく。</li> <li>・正しい姿勢で食事ができるよう、声をかけたり、見守ったりしていく。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが何でもやりたがったり自己主張が強くなったり、保護者は子育てに悩む時期であるので、保護者が「大変だけど可愛い」という気持ちをもてるように働きかけていく。</li> </ul>	

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーン、フォークを使って食事をする。</li> <li>・着脱・排泄等身の回りのことを、保育者に手伝ってもらいながらする。</li> <li>・行きたい方向に行けるようになり、体を動かして遊ぶ。</li> <li>・クレヨンでぐるぐる描きをする。</li> <li>・思い通りにできないが何でも自分でやろうとする。</li> <li>・保育者と一緒に、見立て、つもり遊びをする。</li> <li>・新しい環境で進級児や新入園児が不安になる。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者に不安や欲求を受け止めてもらい、安心して生活する。</li> <li>○保育者に見守られながら、自分のしたい遊びを楽しむ。</li> <li>○簡単な身の回りのことを、保育者と一緒にやろうとする。</li> </ul>
経験する内容	生命の保持・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者のそばで安心して過ごす。</li> <li>・保育者を仲立ちとして、友達と一緒に食べることを喜ぶ。</li> <li>・声かけでトイレに行き、見守られながら排泄する。</li> <li>・手伝ってもらいながら、衣服や靴を着脱しようとする。</li> <li>・保育者にそばについてもらいながら、安心して眠る。</li> <li>・園庭で体を動かして遊ぶ。(走る、登る、下りる)</li> <li>・新しい場所や人に慣れ、好きな遊具や玩具を見つけ遊ぶ。</li> <li>・友達のやっている遊びと同じことをしようとする。</li> <li>・保育者を仲立ちとして友達と関わって遊ぶ。</li> <li>・園庭で身近な草花、植物に興味をもち、見たり触れたりする。</li> <li>・生活の中で簡単な挨拶や返事をする。</li> <li>・生活に必要な言葉が分かるようになる。</li> <li>・絵本を読んでもらったり、手遊びや歌を歌ったりして楽しむ。</li> <li>・土、砂、虫など様々なものに興味をもって触れる。</li> </ul>
	心身の健康	
	人とのかかわり	
	身近な環境とのかかわり	
	言葉の獲得	
感性と表現		
保育者の援助	【環境構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカーやタオルかけなどの場所が分かるように個人マークをつける。</li> <li>・遊具の出し入れがしやすいように写真やイラストをつける。</li> <li>・好きな遊びを選べるようにいろいろな遊具、コーナーを用意する。</li> </ul>
	【保育者のかかわり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、排泄、午睡など安心してできるように保育者がゆとりをもち、ゆったりとした生活リズムと雰囲気をつくる。</li> <li>・一人一人の甘え、不安、欲求を丁寧に受け止めて信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする。</li> <li>・遊具の使い方を知らせ、安全に遊べるように配慮する。</li> <li>・否定的な言葉ではなく、「できるかな」「～しようね」と自らやってみようという意欲がもてるような言葉かけをする。また、できた時にはできて当たり前と思わず、見逃さないようにほめてその子の自信につなげていく。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンやフォークを使って食べられるよう一人一人に合わせた声かけをしていく。</li> <li>・保育者も一緒に食べる中で、「〇〇おいしいね」など、会話をしながら楽しい雰囲気の中で食べられるようにしていく。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登降園の際に声をかけたり連絡ノートでのやり取りの中で、子どもの姿を伝え合い、保護者の気持ちに寄り添い共感していく。</li> <li>・自我が芽生え何でもやりたがるが、上手いかず失敗する時期だということを伝える。</li> <li>・やりたいという気持ちを大切に、失敗しても自分でやったという満足感が得られるような経験をさせることで意欲が育つことを伝える。</li> </ul>	



子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンやフォークを使って食事をする。</li> <li>・尿意を知らせ、トイレで排泄する。</li> <li>・登る、押す、引っ張るなど、全身を使って遊ぶ。</li> <li>・トラックや家など、積み木で形あるものを作って遊ぶ。</li> <li>・自我が芽生え、自分の欲求や要求を言葉で伝えようとし、「どうして」などの質問をする。</li> <li>・保育者と一緒に、見立て、つもり遊びをする。</li> </ul>		
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○やりたい気持ちを受け止めてもらいながら、簡単な身の回りのことをやろうとする。</li> <li>○保育者や友達と一緒に、戸外で十分に体を動かして遊んだり、水、砂、土に触れて開放的な遊びを楽しんだりする。</li> <li>○生活に必要な言葉が少しずつ分かり、したいことやしてほしいことを言葉で表現しようとする。</li> </ul>		
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分からトイレに行き、保育者に見守られながら排泄する。</li> <li>・保育者に見守られながら、自分で衣服や靴の着脱をしようとする。</li> </ul>		
	人とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達との関わりを深めながら、自分の気持ちを安心して表す。</li> <li>・保育者と一緒に模倣をしながら、見立て、つもり遊びを楽しむ。</li> </ul>		
	身近な環境とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や遊びの中で、順番などの決まりがあることを知る。</li> <li>・自分のしたいことやしてほしいことを、言葉やしぐさで伝える。</li> <li>・絵本の中の簡単な言葉を繰り返して楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に、水、砂、土に触れて遊ぶ。</li> </ul>		
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレヨンや絵の具などで、思いのままに塗ったり描いたりする。</li> <li>・積み木を並べたり積んだりすることを楽しむ。</li> </ul>		
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦粉粘土などを、丸めたり伸ばしたりして楽しむ。</li> </ul>		
保育者の援助	<p>【環境の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見立て遊びが楽しくなるような物を用意する。</li> <li>・水、砂、土などに触れる環境を用意する。</li> <li>・水遊びでは必ず監視役をおき、転倒防止のため周りに滑りにくい物を敷くなどして安全面に十分配慮する。</li> <li>・プライバシー保護の為、タープやつい立を利用する。</li> <li>・着替えや持ち物など、自分で出し入れしやすいように工夫する。</li> </ul>	<p>手指の機能を使った遊びのために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦粉粘土・のり・ボタンはめ</li> <li>・ひも通し・クレヨン</li> </ul>	<p>見立て遊びのために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積み木・ままごと道具・人形</li> <li>・電車ごっこのハンドル</li> </ul>	<p>体を動かす遊びのために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巧技台・スクーター</li> <li>・三輪車</li> </ul>
	<p>【保育者のかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを大切に、ゆとりをもって見守ったり、励ましたりしながら意欲につなげていく。</li> <li>・一人一人の健康状態を把握し、水分補給や休息に配慮していく。</li> <li>・友達とのトラブルの場面では、一人一人の思いを受け止めながら、相手の気持ちに気付けるように伝えていく。</li> <li>・やっていいことといけないうことを言葉で繰り返し伝えていく。</li> </ul>			
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食器に手を添えて食べられるように声をかけていく。</li> <li>・保育室で給食員と交流する機会をもつ。(例えばスイカを切ってもらったり、おにぎりを目の前で作ってもらったりするなど)</li> <li>・食材を見たり触れたりして興味をもつ。</li> </ul>			
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何でも自分でやりたがり、自己主張をして感情のコントロールができないことがあるが、発達の過程に見られる姿であることを伝える。</li> <li>・子どもの気持ちを受け止めるために、抱きしめたりスキンシップ(絵本の読み聞かせや親子の会話等)をとったりすることで、子どもが愛情を感じ情緒が安定することを伝える。</li> <li>・衣類など、子どもが自分で出し入れしやすいように整理しておく必要性を知らせる。</li> </ul>			

<b>子どもの姿</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でほとんどこぼさずに食べる。</li> <li>・ズボン、パンツを下げて、排泄する。</li> <li>・走ったり、跳んだりして遊ぶ。</li> <li>・丸を描く。(円が閉じる。)</li> <li>・上手くできなくても、身の回りのことを自分でする。</li> <li>・自己主張が強くなり、友達とぶつかり合う。</li> <li>・保育者や友達と一緒に見立て、つもり遊びをする。</li> </ul>
<b>ねらい</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者に見守られながら、身の回りのことを少しずつ自分でやろうとする。</li> <li>○生活や遊びの中で、保育者や友達と関わり、簡単な言葉のやり取りを楽しむ。</li> <li>○全身を使った活動的な遊びを楽しむ。</li> </ul>
<b>経験する内容</b>	生命の保持・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うがい仕方を知る。</li> <li>・尿意、便意を知らせ、自分からトイレに行って排泄しようとする。</li> <li>・ズボン、パンツを下げて排泄する。</li> <li>・鼻水を自分で拭いたり、かもうとしたりする。</li> <li>・戸外遊びを十分にすることで、全身を動かして遊びを楽しむ。</li> <li>・巧技台などで段差のある遊びを楽しむ。(腕力、背筋、腹筋、脚力)</li> <li>・保育者が仲立ちとなり友達と見立て、つもり遊びを楽しむ。</li> <li>・友達との玩具の取り合いでトラブルになった時など、保育者を仲立ちとして相手も同じ思いをしていることを知る。</li> <li>・「かして」「いれて」などの自分の思いを少しずつ、言葉にして保育者や友達に伝えようとする。</li> <li>・簡単な物語の絵本、紙芝居など繰り返し読んでもらったり、好きな歌を歌ったりすることを楽しむ。</li> <li>・リズムに合わせて身体を動かすことを楽しむ。</li> </ul>
	心身の健康	
	人とのかかわり	
	身近な環境とのかかわり	
	言葉の獲得	
感性と表現		
<b>保育者の援助</b>	<p>【環境の構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きが活発になるので、安全に配慮したうえで、子ども達がやりたいことをのびのびできるような環境を整えていく。</li> <li>・見立て、つもり遊びが楽しくなるように、布、紙、お手玉、容器、キャップ、自然物(どんぐり、まつぼっくり)などを用意しておく。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>手指の機能を使った遊びのために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土・のり・はさみ・パズル</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>見立て遊びのために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積み木・ブロック・布・紙</li> <li>・お手玉・容器・キャップ</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>体を動かす遊びのために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール・三輪車・巧技台</li> <li>・マット</li> </ul> </div> </div> <p>【保育者のかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身ともに成長する時期なので、生活や遊びともにやってみようとする気持ちがもてるように言葉のかけ方を工夫し、遊びの内容を充実させていく。</li> <li>・できたことをほめたり認めたりすることで自信へとつなげていく。</li> <li>・トラブルの際は、互いの気持ちを十分に受け止めたうえで、相手の気持ちを代弁して伝え、友達との関わり方を知らせていく。</li> </ul>	
<b>食育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が手を添えたり、やってみせたりして正しい食具の持ち方を知らせていく。</li> <li>・食後のブクブクうがいは、実際に保育者がやってみせたり、やり方を知らせたりしていく。</li> </ul>	
<b>家庭との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とのトラブルの際は、状況を詳しく伝える。</li> <li>・手洗いやうがいなど清潔について、習慣づけることの大切さを伝える。</li> <li>・散歩や園庭遊びなど戸外での活動が多くなってくるので、動きやすい衣服や足に合った靴を用意してもらう。</li> </ul>	

2歳児 発達の過程 IV期 ( 1月 ~ 3月 )

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食器を持ってフォークで食べる。</li> <li>・着脱や排泄など身の回りのことが、ほぼ自分でできる。</li> <li>・体が自由に動かせるようになり、全身を使って遊ぶ。</li> <li>・手すりにつかまりながら、スムーズに階段の上り下りをする。</li> <li>・少しずつ形のある絵を描く。</li> <li>・友達との関わりが多くなり、トラブルになることもある。</li> <li>・少人数で見立て遊びをする。</li> <li>・したいこと、して欲しいことを身近な相手に簡単な言葉で伝える。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者に見守られながら、身の周りのことを自分でやろうとする。</li> <li>○手先や全身を使って、いろいろな遊びを楽しむ。</li> <li>○生活や遊びの中で、言葉のやり取りを楽しむ。</li> <li>○興味のあることや経験したことを思い浮かべながら、思うように表現したり、見立て、つもり遊びをしたりすることを楽しむ。</li> <li>○進級することに期待をもつ。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片手で食器を持ってフォークを使い、終わりまで一人で食べようとする。</li> <li>・手洗い、うがいをする。(ブクブク・ガラガラ)</li> </ul>
	人とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・功技台を使って全身運動をする。</li> <li>・友達と同じ遊びをして楽しむ。</li> </ul>
	身近な環境とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との関わりを通して、自分の思いを簡単な言葉で相手に伝えようとしたり、我慢したり待ったりしようとする。</li> <li>・形、大小、色などに関心をもつ。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要な簡単な言葉が分かり、使おうとする。</li> <li>・物語の登場人物や動物など、好きなものになりきり、保育者や友達と一緒に遊んだり、動いたりする楽しさに気付く。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土、絵の具、折り紙、のり、はさみなどの材料や用具を使い、自分なりに作ることを楽しむ。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近に経験したことを真似て、遊びが楽しめるような道具を用意する。</li> <li>・異年齢(3歳以上児)と交流したり、次年度使用するクラスで遊んだりして、進級することに安心と期待がもてるようにする。</li> </ul>
	【保育者のかかわり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自分でできた喜びを味わい、満足感や自信をもてるように、一人一人に合わせたきめ細やかな配慮をしていく。</li> <li>・トラブルの場面では、相手の気持ちが分かるように丁寧に話していく。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1品食ではなく、交互に食べるように言葉かけをする。</li> <li>・寒くても食事前の手洗いやうがいを進んでしようとする姿を励まして、習慣が崩れないようにする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着脱など身の回りのことが自分でできるようになるので、脱ぎ着しやすいものを準備してもらおう。</li> <li>・おたよりや懇談会を通して、これまでの子どもの成長を喜び合ったり、次年度の見通しについて話したりして、安心して進級できるようにする。</li> </ul>	

3歳児 発達の過程 I期 ( 4月 ~ 6月上旬 )

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス規模の変化や家庭からの園生活への変化により不安や戸惑いを感じる子どもがいる。</li> <li>・好きな遊具や場を見つけ、自分のペースや思いで動く。</li> <li>・保育者や友達に興味関心を示す。</li> <li>・困ったことや嫌なことなど、言葉でなかなか伝えられない。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の好きな遊びや場を見つけ、遊ぼうとする。</li> <li>○保育者や友達と触れ合い、共に遊ぶ中で親しみをもつ。</li> <li>○新しい環境に慣れ、安心して過ごす。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい環境に慣れ、基本的な生活の仕方を知る。(食事、排泄、手洗い、所持品の始末など)</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と一緒に食事をする。</li> <li>・園の約束事や、遊具、用具の使い方を知る。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と、話したり触れ合ったりして遊ぶ。</li> <li>・自分のクラスや担任、友達の顔や名前を覚える。</li> <li>・身近な小動物や草花を見たり触れたりして、親しみをもつ。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ままごと、電車、積み木、ブロックなどに興味をもち遊ぶ。</li> <li>・挨拶や返事など生活に必要な言葉を知る。</li> <li>・絵本や紙芝居を見たり聞いたりして、読んでもらうことを楽しむ。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に歌を歌ったり、手遊びをしたり、音楽に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。</li> <li>・砂、粘土などの素材に触れて、感触を楽しみながら遊ぶ。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活する場所や物が分かるように、個別のマークを付け、安心して生活ができるようにする。</li> <li>・遊具を置く場所は、出し入れや片付けがしやすいようにしたり、分かりやすく表示をつけたりする。</li> <li>・興味をもった遊びを一人一人が十分にできるように、遊具の数や置き方に配慮する。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差に配慮しながら一人一人の気持ちをしっかりと受け止め、声をかけながらスキンシップをとり、安心して園生活が送れるように子どもとの信頼関係を築く。</li> <li>・保育者も一緒に遊び、楽しさを共感する。</li> <li>・いろいろな遊具や場を知らせたり、遊びに誘いかけてたりして、やりたいことがみつけれられるようにする。</li> <li>・絵本や紙芝居、リズム、いろいろなペーパーアートや指人形などの教材を準備し、保育者のそばに集まると楽しいことがあるという思いを積み重ねていく。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や保育者と一緒に食事をする喜びや楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・昼食時の活動の仕方を知る。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の生活を理解し、様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしてコミュニケーションを図り信頼関係を築く。</li> <li>・自分でしようとする力につながるように、身の回りのことや所持品の始末などのやり方を教えたり、見守ったりする大切さを懇談会やクラスだよりなどで伝える。</li> </ul>	

3歳児 発達の過程 II期 ( 6月上旬 ~ 9月上旬 )

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな遊びを見つけて遊ぶ。</li> <li>・自分が好きな遊びの場にいる友達と、関わって遊ぶ。</li> <li>・自分の思い通りにしたが、物の取り合いなどのトラブルがでてくる。</li> <li>・園生活の流れが少しずつ分かってくる。</li> <li>・所持品の始末などについては、保育者の声かけや援助で、自分でしようとする子ども、気分によってできなかつたり甘えたりする子どもがいる。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。</li> <li>○保育者や身近にいる友達と同じ場や物で遊んだり、同じように動いたりすることを楽しむ。</li> <li>○保育者と一緒に、簡単な身の回りの始末を自分でしようとする。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具を使ったり走ったりして身体を動かして遊ぶ。</li> <li>・好きな物を喜んで食べる。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事や排泄、手洗い、身の回りの始末など、保育者の声かけや援助により自分でしようとする。</li> <li>・保育者や自分の近くで遊んでいる友達に興味や関心をもつ。</li> <li>・友達がしていることを見たり、真似したりして遊ぶ。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の物や、他の人の物、みんなで使う物の違いが分かり、大切にすることを覚える。</li> <li>・身近な小動物や草花、野菜などを見たり触れたりして、興味や関心をもつ。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「貸して」「入れて」「ありがとう」「順番ね」など、遊びに必要な言葉を知る。</li> <li>・困ったことや、してほしいことを保育者に自分なりの言葉やしぐさで表現する。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂、泥、水、シャボン玉などで遊び、解放感を味わったり感触を楽しんだりする。</li> <li>・曲の感じやリズムに合わせて、体を動かしたり、簡単な身体表現などを楽しんだりする。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の着替えや身の回りの片付けの手順や場が分かりやすいように入れ物を用意したり、表示をしたりする。</li> <li>・水の心地よさや、いろいろな素材の感触を味わい楽しめるような環境を工夫する。</li> <li>・水遊びやプール遊びの際には、安全面や衛生面に十分配慮するとともに、個人差に応じて無理なく水に親しめるような環境を作る。</li> <li>・自分なりの遊びを楽しみながらも、友達が遊んでいる様子が分かるような空間や場作りをする。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の発達を丁寧に捉え、必要に応じて手助けしたり励ましたりし、自分でしようとする気持ちを育てる。</li> <li>・遊びへの興味をもてるように、保育者も一緒に遊びを楽しみながら、友達の様子を見せたり誘いかけたりして仲立ちする。</li> <li>・子どもの思いや感情を受け止め共感し、自分らしさを発揮できるようにする。</li> <li>・こまめな水分補給や休息をとれるようにし、一人一人の体調に留意する。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で食べることに、楽しみや自信を感じられるような言葉かけをする。</li> <li>・プランターの置き場を工夫するなどして、身近な植物や野菜の育ちに目を向け、収穫を楽しめるようにする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活で身の回りのことを自分でしている姿を個人面談やクラスだよりなどで知らせ、子どもの成長を喜び合いながら、家庭でも時間的な余裕をもって取り組んでもらえるように、お願いする。</li> <li>・食事、睡眠、休息などの生活リズムの安定を図れるように知らせる。</li> <li>・友達とのトラブルが発生した時は、人との関わりを学ぶための大切な体験であることを伝える。</li> </ul>	

3歳児 発達の過程 Ⅲ期 ( 9月上旬 ~ 10月下旬 )

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな遊びを繰り返す。</li> <li>・一緒に遊びたい友達ができ、自分から関わっていく。</li> <li>・4、5歳児の遊びをじっと見たり真似したりする。</li> <li>・身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者や友達がすることに興味をもち、自分もしてみようとする。</li> <li>○好きな友達と関わって遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○園での過ごし方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の着脱や身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>・かけっこやいろいろな用具を使った遊びを楽しみ、思いきり体を動かして遊ぶ。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や生活の中で、異年齢児との関わりをもつ。</li> <li>・仲の良い友達や興味のある友達と一緒に、触れ合って遊ぶ。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の変化を感じながら、木の葉や木の実などを集めて触れて遊ぶ中で、身近な自然に興味や関心をもつ。</li> <li>・保育者と一緒に身近な動植物の世話をしたり、遊んだりする中で興味を広げる。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちやして欲しいことなどを、保育者に自分なりの動きや言葉で伝えようとする。</li> <li>・絵本や紙芝居など、みんなで見たり聞いたりすることを楽しむ。</li> <li>・保育者や友達と音楽に合わせて体を動かしたり、いろいろな動きを真似したりして表現する。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるもので、好きなように描いたり作ったりして表現する楽しさを感じる。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事などを通して4、5歳児の活動を見たり真似をしたりするので、繰り返し遊べるように遊具や用具を身近に用意する。</li> <li>・身近な自然事象に興味をもてるように、園外に出かけたり動植物に触れたりする機会をもつ。</li> <li>・友達と同じようなことをして、一緒にいることが楽しめるように、身近な用具や材料、場を用意する。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの始末などは、自分からしようとする姿を見守ったり、できるようになった姿を認めたりして励ます。</li> <li>・保育者が子どもと一緒に体を動かして遊ぶ姿を見せながら、その楽しさを伝える。</li> <li>・トラブルや思い通りにならない時には、個々の思いを受け止める。また互いの思いを代弁して伝えたり、気分を切り替えたりできるようにする。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事が終わるまで席を立たないなど、簡単なマナーを知らせていながら、一緒に食事をします。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会などの取り組みは、個人差があることを伝え、その子なりの成長を感じてもらえるようにする。</li> <li>・自分の思いが達成されないことに、泣いたり怒ったりすることが増えてくるが、成長の過程ととらえ、見守っていくことの大切さを伝える。</li> </ul>	

3歳児 発達の過程 IV期 ( 10月下旬 ~ 12月 )

<b>子どもの姿</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな友達と一緒に、同じ遊びを楽しめるようになる。</li> <li>・簡単なルールのある遊びを楽しむようになる。</li> <li>・おしゃべりが活発になる。</li> <li>・生活の中でのきまりが分かるようになる。(交替に使う 順番に並ぶなど)</li> </ul>
<b>ねらい</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな活動に興味をもち、楽しむ。</li> <li>○みんなと一緒に遊ぶ楽しさを感じる。</li> <li>○生活や遊びの中にきまりがあることが分かり、守ろうとする。</li> </ul>
<b>経験する内容</b>	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの始末など、自分からやってできたことに喜びを感じる。</li> <li>・保育者や友達と、簡単なルールのある遊びをする。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と同じ活動に参加し、みんなと一緒にすることを喜ぶ。</li> <li>・友達との関わりの中で、楽しく遊ぶためにきまりやルールがあることを知る。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の話をみんなと一緒に聞こうとする。</li> <li>・身近な物の大小、色、形、多い少ないなどの違いに気付く。</li> <li>・いろいろな材料や用具を使って、遊びに必要なものを作る。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや生活の中で、必要な言葉を使おうとする。</li> <li>・保育者や友達と、言葉のやりとりをすることを喜ぶ。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなリズム楽器に触れたり、鳴らしたりすることに楽しさを感じる。</li> <li>・見立てたり、何かのつもりになったりして自分なりに表現して遊ぶ。</li> </ul>
<b>保育者の援助</b>	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見立てたり、なりきったりして遊ぶことができるような材料や用具を用意し、自分なりに作ったり使ったりできるようにする。</li> <li>・友達と一緒に遊ぶのが十分に楽しめるような材料や用具、遊びの場を用意する。</li> <li>・日頃使い慣れている遊具を使いやすいように置いたり、好きな所に場を広げられるような物を用意したりする。</li> <li>・季節の変化に応じ、室内の温度・湿度・換気に配慮する。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後までやり遂げようとする気持ちが芽生えているので、保育者は見守り、子どもの気持ちを受け止める。様子によっては、手助けをし「できた」という満足感が味わえるようにする。</li> <li>・遊びや場に応じた簡単な言葉を知らせ、言葉で伝える喜びがもてるようにする。</li> <li>・トラブルが起きた時は、それぞれの思いを受け止め、相手の気持ちにも気付けるように仲立ちをする。(分かりやすく代弁して伝えたり、気分転換を図ったりする)</li> <li>・生活や遊びの中に、きまりがあることを繰り返し伝える。</li> <li>・子どもの興味や集中時間を考慮し、分かりやすく話をする。</li> <li>・手洗いやうがいには保育者も一緒にいき、大切さを知らせる。</li> </ul>
<b>食育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慣れない食べ物や、嫌いな食べ物も、食べてみようという気持ちを促す。</li> <li>・活動(芋ほり、焼き芋など)を通して、秋の食材に触れたり味わったりすることができるようにする。</li> </ul>	
<b>家庭との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さに向けての健康管理の方法と必要性を知らせる。</li> <li>・好きな物を食べるだけでなく、いろいろな食材を食べることの大切さを知らせる。</li> <li>・保育参観などを通して、子どもの成長や具体的な姿を共有したり、親子の触れ合いの楽しさを感じ取ったりしてもらう。</li> </ul>	

3歳児 発達の過程 V期 ( 1月 ~ 3月 )

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に遊ぶ楽しさが分かってくる。</li> <li>・自分の思いを言葉や動きで表現することが多くなる。</li> <li>・一日のおおまかな生活の流れが分かり、自分で行動しようとするようになる。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊びの中で作ったり動いたりして、自分なりに表現することを楽しむ。</li> <li>○友達と遊んだり話したりすることを楽しみ、一緒に活動しようとする。</li> <li>○基本的な生活習慣が身に付き、自分のことは自分でしようとする。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防寒着の着脱や始末、手洗い、うがいなど、身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と集団遊びを楽しみ、体を動かして遊ぶ。</li> <li>・クラスみんなで、同じ遊びを楽しむ。</li> <li>・保育者や友達との関わりの中で、会話を楽しみながら一緒に遊ぶ。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が困ったり泣いたりしている時、助けてあげようという気持ちをもつ(なぐさめたり、保育者に伝えたりする)。</li> <li>・冬の自然に興味をもち、見たり触れたり体で感じたりする。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な材料を使って自分が欲しい物を作ったり、できた物を遊びに使ったりする。</li> <li>・自分の思いや考えを、自分なりに言葉に出して伝える。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や紙芝居などを見たり聞いたりしながら、言葉への興味を広げていく。</li> <li>・ごっこ遊びや簡単な劇遊びで、好きな登場人物になりきって遊ぶ。</li> <li>・音楽に合わせてリズム楽器を鳴らしたり、身体表現をして楽しんだりする。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びが発展できるような材料や、遊びたい友達と一緒にいられる場などを用意し、友達や保育者と十分触れ合って遊べるようにする。</li> <li>・簡単なルールや繰り返しのある遊びを友達と一緒に楽しめるよう、遊具や用具を用意する。</li> <li>・身近な自然現象に、興味をもって関わられるような環境を工夫する。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことは自分でする姿に共感し、認めたり褒めたりすることで自信をもたせ、大きくなった喜びを感じ取れるようにする。</li> <li>・友達と一緒に遊ぶ姿を見守ったり楽しさを共感したりし、さらにつながりが感じられるようにする。</li> <li>・一人一人の動きを受け止めながら、保育者もアイディアやヒントを出し、より遊びが楽しくなるようにする。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で準備や片付けができる姿を認め、自信につなげていく。</li> <li>・異年齢の友達や担任以外の保育者と食事をする機会を設けて、周りの人に親しみを感じながら会食する楽しさが味わえるようにする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己主張や自立心が強くなるが、まだ甘えたい気持ちもあるので、温かく受け止めるように伝える。</li> <li>・懇談会や個人面談などで話し合うなかで、進級に向けて子どもの成長を振り返ったり、喜んだりする機会を設ける。</li> </ul>	



子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級や入園に期待を抱いている子どもや、不安な気持ちをもっている子どももいる。</li> <li>・保育者の仲立ちにより、自分のやりたい遊びを見つけ遊ぼうとする。</li> <li>・園生活の流れや過ごし方がわかり、保育者の言葉かけにより、身の回りのことをしようとする。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者に親しみをもったり、園が楽しいところであると感じたりする。</li> <li>○好きな遊びを通して、友達や保育者と触れ合うことを楽しむ。</li> <li>○園生活の流れが分かり、安心して過ごす。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の場でのきまりがあることを知る。</li> <li>・保育者や友達と一緒に楽しく食事をする。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で体を動かして遊ぶ気持ちよさを感じる。</li> <li>・保育者や友達との触れ合いを楽しむ。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達に親しみをもち、好きな遊びをする。</li> <li>・困っていることや、してほしいことなどを保育者に伝えようとする。</li> <li>・春の花や虫に触れ、いろいろな自然に親しむ。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や返事など生活に必要な言葉を使おうとする。</li> <li>・絵本や紙芝居などを見たり、聞いたりすることを楽しむ。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせて体を動かしたりする。</li> <li>・身近な素材や用具を使って、かいたりつくったりすることを楽しむ。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな遊びができる時間や場所を保障する。</li> <li>・遊具は子どもが欲求を満たせる程度の量や種類を準備し、また、片付けやすいよう場所を工夫する。</li> <li>・生活がスムーズに送れるよう、保育室を整えとともに、遊具、用具の置く場所を分かるようにする。</li> <li>・園庭での場の構成は遊びの特徴や安全面に考慮して行う。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園全体の職員が、様々な場面で子どもを援助できるよう連携を図る。</li> <li>・個人差を考慮して子ども一人一人に呼びかけたり、触れ合いを多くしたりして情緒の安定を図る。</li> <li>・保育者が積極的に遊びに加わり、遊びの楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・同じ場にいる友達の存在に気付くような言葉かけをする。</li> <li>・遊具や用具の使い方を知らせ、一人一人を見守りながら、安全な使い方を伝える。</li> <li>・個人差を考慮し、生活の流れがわかるように言葉をかけたり必要に応じて手助けをしたりする。</li> </ul>

食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園での食事の仕方や流れを理解し、保育者や友達と一緒に食事をする楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・季節に応じた植物や、保育に活用できるような植物を選び、育てる。</li> <li>・植物の観察や水やりなど子どもと一緒にいながら、生長の喜びを感じられるようにする。</li> </ul>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談、懇談会やおたよりなどで園の方針やクラス運営方針について伝え、園と家庭とが同じ思いで、子どもに関われるようにする。</li> <li>・園や家庭での子どもの様子を連絡帳や送迎時に伝え合い、保護者の不安な気持ちを受け止めながら、信頼関係を築いていく。</li> </ul>

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな活動への興味が広がり、体を十分に動かすようになる。</li> <li>・周りの友達の動きに目が向くようになり、相手と同じことをして関わる。</li> <li>・友達とのトラブルが見られ、自分の思いにも気付いてほしいという働きかけが増える。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな活動に興味をもち、自分のやりたい遊びを見つけて楽しむ。</li> <li>○友達と関わりをもち、一緒に活動することを楽しむ。</li> <li>○自分でできることに喜びをもちながら、生活に必要な習慣を身に付ける。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・安全な遊具や用具の扱い方など、園での生活の仕方が分かり進んで行く。</li> <li>・興味をもった遊びをする中で、友達とのつながりを楽しむ。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と同じ物を持ったり、同じ動きをしたりして、イメージを共有してごっこ遊びを楽しむ。</li> <li>・身近な動植物や自然事象に興味や関心を広げる。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂や泥などの感触を味わう。</li> <li>・色水遊びやシャボン玉遊びなどで、試したり発見したり、できたことを喜ぶ。</li> <li>・自分の思ったことを言葉や動きで表現し、相手に伝えようとする。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や返事など必要な言葉を使う。</li> <li>・水遊びを通し、水の冷たさや気持ちよさを味わう。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に歌ったり、音楽を聞きながら体を動かしたりして楽しむ。</li> <li>・身近な素材や用具を使って自由にかいたりつくったりすることを楽しむ。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものつくりたい物が実現できるよう、材料や用具を用意する。素材は子どもが扱いやすい大きさや種類を用意し、自由に使えるようコーナーなどに分類しておく。</li> <li>・解放感を味わう水遊び・砂遊びは、進んで遊びに取り組むことができるように、子どもの興味もてる素材や用具を十分に用意する。</li> <li>・気の合う友達との遊びを楽しめるように、遊具や場を用意する。</li> <li>・身の回りのことが進んでできるように、子どもと一緒に رفتったり、分かりやすく表示をしたりする。</li> <li>・梅雨時や水遊びの時期の衛生管理及び安全面に十分注意する。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士の間関係性を把握し、友達の関わりや触れ合いを楽しめるようにする。</li> <li>・つくることの楽しさやつくったもので遊ぶ楽しさを味わえるよう、保育者が子どもと一緒に遊び、楽しさを共有していく。</li> <li>・遊びの中でいろいろなことに気付く、感じる、試すなどしている姿を受け止め、認めたり共感したりして、満足感を味わえるようにする。</li> <li>・水遊びは個人差を把握し、一人一人の子どもが無理なく水に親しめるようにしていく。また、着替えも慣れるまでは不安な子どもがいるので、温かく励まし安心して取り組めるよう援助する。</li> <li>・友達の遊びの様子や、楽しんでいることなどを周りの子どもに伝え、触れ合えるようにする。</li> <li>・暑い日は日陰で遊んだり、水分補給をしたりと、子どもの体調に十分配慮する。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の栽培や水やりを通して、生長の様子や変化を楽しみながら、気付いたことなどを伝え合える場面を設ける。</li> <li>・枝豆やとうもろこしの皮むきを通して食材に興味もてるようにする。</li> <li>・自分たちで育てた野菜の収穫を喜び、味わえるようにする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談では、4月からの成長を知らせ保護者に安心してもらい、家庭とともに成長を見守っていけるようにする。</li> <li>・運動会などについての事前説明を行い、目的などを明確にして保護者に理解してもらいとともに子どもたちの成長を喜び合うようにする。</li> </ul>	

<b>子どもの姿</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりのイメージをもち、遊びの場を作ったり、見立てたりして遊ぶ。</li> <li>・友達とのつながりを感じ、同じものをつくって持ったり、遊びの中で同じような動きをしたりする。</li> <li>・クラス全体で集まった時に、保育者の話を聞こうとする態度が見られるようになってくる。</li> </ul>
<b>ねらい</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と触れ合いながら、感じたことを自分なりに表現して楽しむ。</li> <li>○気の合う友達の中で、自分の思いを出しながら遊ぶ。</li> <li>○保育者や友達の話の聞いたり、会話を楽しんだりする。</li> </ul>
<b>経験する内容</b>	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温や活動に応じて、衣類の調節を自分でする。</li> <li>・運動的な遊びを自分からやってみようとする。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なルールのある遊びを友達と一緒に楽しむ。</li> <li>・みんなで行う活動に喜んで参加し、自分なりの力を出す。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の態度や表情から、相手の思いに気付く。</li> <li>・夏から秋への自然の移り変わりに気付く。</li> <li>・草花を遊びに取り入れたり、虫探しや観察をしたり身近な動植物に親しみをもって関わる。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことや考えたことを保育者や気の合う友達と伝え合う。</li> <li>・様々な素材や用具を使って、遊びに必要なものをつくる。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊びや活動を経験する中で、イメージを豊かにする。</li> <li>・音楽に合わせて歌ったり踊ったりし、体を動かすことを楽しむ。</li> </ul>
<b>保育者の援助</b>	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びが充実し楽しめるよう、子ども達の興味に合わせた玩具、用具、素材を十分に用意する。</li> <li>・友達との関わりが広がるよう、自分たちで遊びの場を作れるようにしたり、遊びに関わる人数によって場を広げたりする。</li> <li>・活動に必要な遊具や用具を、準備、点検しておく。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で思い切り体を動かして遊べるよう保育者も遊びに加わり、楽しい雰囲気作りをしたり、意欲を高めたりする。</li> <li>・トラブルを見守り、子ども同士で解決できない時は保育者が入ったり、代弁し必要な言葉を伝えたりする。</li> <li>・自分の思い通りにならない気持ちを受け止めながら、相手の思いにも気付くようにする。</li> <li>・自分の話や思ったことを聞いてもらう喜びを感じることができるよう、相づちを打ったり言葉を補ったりするとともに、相手の話を聞くことの大切さを伝えていく。</li> <li>・気温や活動に応じて、衣服の調節が必要なことに気付くよう、言葉をかけ知らせていく。</li> </ul>
<b>食育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事をしっかり摂ることや清潔にすることが、健康にとって大切であることを伝える。</li> <li>・箸の持ち方や使い方の見本を見せたり、絵や写真を貼ったりして、分かりやすく知らせる。</li> </ul>	
<b>家庭との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会に向けて取り組む様子を伝え、子どもの成長している姿をともに喜び合う。</li> <li>・園で自然物を取り入れて遊ぶ様子を伝え、親子で秋の自然に興味や関心をもてるようにする。</li> </ul>	

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達の中で思いを伝え合いながら遊びを持続させるようになる。</li> <li>・友達への関心が高まり、相手を理解しようとする気持ちが芽生え始める。</li> <li>・危険な場所や遊び方に気付き、安全な行動を意識できるようになってくる。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分なりの目的やイメージをもち、自分の力を発揮する。</li> <li>○友達と遊ぶ中で、自分の思いを表現したり、相手の言葉や動きを意識したりして遊ぶ。</li> <li>○場に応じた行動の仕方を知り、きまりを守ろうとする。</li> </ul>
経験する内容	生命の保持・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣類の調節、手洗いやうがいの大切さを知り、自分でする。</li> <li>・落ち着いた雰囲気の中で、食事のマナーを意識しながら楽しく食事をすすめる。</li> <li>・進んで体を動かす遊びに参加する。</li> <li>・友達と一緒に遊ぶ中で、ルールを守って遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・友達と自分の思いや考えを伝え合い、共通の目的をもって遊びに取り組む。</li> <li>・身近な自然の変化に気付き、秋の自然物を使って遊ぶ。</li> <li>・年末の行事や生活に関心をもつ。</li> <li>・保育者や友達と会話を楽しみ、思ったこと、感じたこと、経験したことなどを話したり、聞いたりする。</li> <li>・絵本や物語などに親しむ中で、その面白さが分かりイメージを広げる。</li> <li>・様々な素材を使って、つくったり飾ったりすることを楽しむ。</li> </ul>
	感性と表現	
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのやりたい思いをくみ取り、実現できるように必要なものを準備する。</li> <li>・みんなの前や、いろいろな友達と話す機会をもてるようにする。</li> <li>・戸外遊びでは、体が温まるような遊びを取り入れる。</li> <li>・ルールの分かりやすい遊びを用意し、必要に応じてルールを確認し合う場を設ける。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の思いや考えに共感し、思いが伝わり合う嬉しさを感じたり、やり遂げた満足感を味わったりできるようにする。</li> <li>・子どもが自分の思いを伝えたり、相手の気持ちに気付いたりできるように、一人一人の思いを受け止める。</li> <li>・自分達の生活に必要な行動やきまりがあることに気付き、意識して行動できるよう、知らせたり一緒に考えたりする。</li> <li>・風邪の予防をすすんで行う気持ちが育つよう、手洗い・うがいが大切なことを知らせる。</li> <li>・秋の自然に興味をもったり、遊びの中に取り入れれたりできるような材料や場の設定をする。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養や健康の話や紙芝居などを通し、食べてみようと思う興味や意欲をもてるようにする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常における、子どもの取り組みや友達との関わりの中で成長した姿を伝え、ともに喜び合い、今後の親子の励みとなるようにする。</li> </ul>	

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに目的意識をもち、自己発揮して遊べるようになる。</li> <li>・友達と気持ちを受け止め合って遊ぶことを楽しむようになる。</li> <li>・自分なりに生活の見通しをもち、身の回りのことができるようになる。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分なりの目的や目標に向かって考えたり、試したりしながら遊ぶ。</li> <li>○自分の気持ちに折り合いをつけながらクラスで活動することを楽しむ。</li> <li>○もうすぐ年長組になる期待をもち、自分のことは自分でやろうとする。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に必要な習慣が身に付き、自分から進んで身の回りのことをする。</li> <li>・寒さに負けず、思い切り体を動かして遊ぶ。</li> <li>・友達と共通の目的をもち、互いに動きや言葉を受け止め合って遊ぶ楽しさを知る。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなごっこ遊びの中で必要なものを友達と一緒に考えたり、工夫したりして作り、遊びに生かして使う。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の身近な自然(霜柱、氷、雪)に興味をもち、見たり触れたりする。</li> <li>・生活の中で、必要に応じて数を数えたり、量の大小を比べたりする。</li> <li>・遊びの中で絵本やカルタなどを楽しむ。</li> <li>・保育者や友達の話に親しみをもって聞き、自分の思っていることを話す。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長を喜び、年長組になることに期待する気持ちをもつ。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇の様子や日差し、風の暖かさなど、小さな自然の変化に気付き、春の訪れを感じ取る。</li> <li>・年長組からいろいろな当番活動を引き継ぎ、年長組になることに期待をもちながら喜んで取り組む。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その子なりの目的意識をもてるような活動をクラス全体で取り入れ、その中で友達の姿も意識していくことができるようにする。</li> <li>・遊びの中で自然な形で文字や数量に親しめるよう、場を設定したり、教材を準備したりする。</li> <li>・保育者や友達の話落ち着いた聞きやすい雰囲気作りをしていく。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたり、試したりしている姿を大切に、それぞれの状態に応じて援助し、満足感をもてるようにする。</li> <li>・トラブルが起きたときは、保育者も子どもと一緒に考え互いの思いを出し合えるようにする。</li> <li>・冬の身近な自然に触れながら、発見・疑問などに共感する。</li> <li>・年長児にしてもらったことや、教えてもらったこと、一緒に遊んだことを話し合い、修了を祝う気持ちや感謝の気持ちをもてるようにする。</li> <li>・当番活動を年長児から教わりながら、自分たちの役割として喜んで取り組めるようにする。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や姿勢など食事に必要なマナーの大切さがわかり、自ら進んで取り組めるようにする。</li> <li>・クッキングや会食など、食を通して感動することを体験し、食べる楽しさや感謝の気持ちをもてるようにしていく。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の子どもの成長について保護者に伝え、保護者も子育てが楽しいと感じられるようにする。また、次年度も園に通うことを親子共々楽しみにできるようにする。</li> </ul>	

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級した喜びや期待をもちながら、新しい環境に自分から関わり、いろいろな遊びに取り組む。</li> <li>・異年齢の子どもに対して、優しさや思いやりをもって、手助けしようという気持ちをもつようになる。</li> <li>・気の合う友達や保育者と、好きな遊びを一緒に楽しむようになる。</li> <li>・新しい生活の仕方を知り、自分なりに考え動くようになる。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい環境に自分から関わり、いろいろな遊びに取り組む。</li> <li>○自分のやりたい遊びをしたり、友達や保育者との関わりを楽しんだりしながら、クラスのつながりを感じる。</li> <li>○年長児としての生活の仕方が分かり、進んで行く。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外で体を動かして十分に遊ぶ。</li> <li>・安全に遊具や用具を使って遊ぶ。</li> <li>・園生活でのきまりを確認し進んで守る。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい保育者や友達に親しみをもつ。</li> <li>・異年齢の子どもに親しみをもって接する。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達と一緒に、好きな遊びをする。</li> <li>・鬼ごっこやゲームなどを友達と一緒に楽しむ。</li> <li>・身近な動植物に親しみ、触れたり、世話をしたりする。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然の変化に興味や関心をもつ。</li> <li>・自然物を遊びに取り入れる。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で目にするマークや表示の意味が分かり、文字や数に興味をもつ。</li> <li>・自分の気持ちや考えを伝えたり、相手の話を聞こうとしたりする。</li> <li>・友達と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせて踊ったりすることを楽しむ。</li> <li>・いろいろな材料を使って、自分のイメージに合わせて作ろうとする。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達と共に生活の場を作り、新しい約束事を作っていくようにする。</li> <li>・遊具や生活に必要な物の置き場は分かりやすく表示する。</li> <li>・自分のしたい遊びが、十分にできる時間と場所を保障する。</li> <li>・友達と一緒にする楽しさが感じられるよう、クラス全体で活動する時間や場を設ける。</li> <li>・園内外の安全衛生に十分配慮し、快適に過ごせるよう、生活の中で繰り返し確認する。</li> <li>・園庭や近隣の公園の自然に触れる機会をもち、植物などにも興味や関心が向けられるようにする。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級した喜びに共感するとともに、緊張や戸惑いの気持ちも十分受け止め、自信や安心感をもって過ごせるようにする。</li> <li>・個人差を考慮し、一人一人の様子を把握して個々の情緒の安定を図り、好きな遊びや生活に取り組めるようにする。</li> <li>・友達を意識できるような言葉をかけたり、保育者が仲立ちしたりして、友達との遊びが十分楽しめるようにする。</li> <li>・他クラスと連携をとりながら、異年齢の子どもとの関わりがもてるようにする。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や姿勢など、気持ち良く食事をするためのマナーに、子どもが自分で気付いたり、正そうとしたりしている姿を認めながら、食事の楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・子どもが自分で野菜を栽培する経験ができるよう、土や肥料、種、苗などを用意する。</li> <li>・植えた野菜に水やりをしたり、生長の様子を観察し、それを図鑑で調べたりできるような環境を整え、収穫を期待して大切に育てられるようにする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のねらいや方針を懇談会やおたよりなどで家庭に伝え、理解を求め、園と家庭が同じ気持ちで子どもに関わってもらえるようにする。</li> <li>・子どもの様子を連絡帳や送迎時に伝え合い、保護者との信頼関係を築けるようにする。</li> <li>・進級時には、喜びだけでなく、戸惑いや不安もあることを伝え、共感したり、励ましたりして、子どもの気持ちを支え合っていけるようにする。</li> </ul>	

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中で、自分なりに試したり、工夫したりするなど、やってみようとする気持ちをもって意欲的に取り組む姿が見られるようになる。</li> <li>・友達と積極的に関わりたいという気持ちが大きくなってくるが、上手に伝えられず、衝突することがある。</li> <li>・当番や係の仕事の内容が分かり、進んで取り組むようになる。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分なりの目的をもち、試したり、考えたりしながら遊ぶ。</li> <li>○気の合う友達と、自分の考えを伝えながら遊ぶ。</li> <li>○役割をもつ喜びを味わい、その役割をやり遂げようとする。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで戸外の遊びに参加して十分に楽しむ。</li> <li>・自分で気付いて、汗を拭いたり衣服の調節をしたりする。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びがより楽しくなるように、考えたり工夫したりする。</li> <li>・自分の考えたことを言葉や動きで伝えたり、相手の思いに気付き受け止めたりする。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りにいる友達と刺激し合いながら、好きな遊びをする。</li> <li>・自分達なりにルールを作り、そのルールにそって遊びを楽しむ。</li> <li>・身近な動植物の世話をすることで、その生長や生態に興味や関心をもつ。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水遊び、砂遊び、プール遊びなど、季節ならではの遊びを楽しむ。</li> <li>・相手の話をよく聞き、内容を理解しようとする。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験したり、感じたりしたことを言葉で表現することを楽しむ。</li> <li>・友達と一緒に曲に合わせていろいろな動きを楽しむ。</li> <li>・砂遊びや水遊びを通して、不思議に思ったり試したりしたことを繰り返して楽しむ。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試したり工夫したりできる素材や場所と時間を十分に保障する。</li> <li>・グループで取り組む活動を取り入れ、少ない人数の中で、思いを伝え合う機会をもつ。</li> <li>・当番活動の内容や手順を絵や文字で分かりやすく伝え、楽しんで取り組めるようにする。</li> <li>・気候に合わせて室内の環境を整える。</li> <li>・水遊びやプール、色水遊びなど夏ならではの遊びが十分楽しめるように準備や環境設定を行う。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士の間人間関係を丁寧に読み取り、集団の中の一人一人を理解する。</li> <li>・自分なりの目的をもって頑張っている姿を励ましたり、認めたりして自信につながるようにする。</li> <li>・個々が伝えようとする思いを、まずは保育者が十分受け止め、自分が受け止められる心地よさを感じられるようにする。</li> <li>・水を使う遊びを行う時には、子どもの状態を把握して衛生・安全に配慮する。</li> <li>・着替え、水分補給、休息など夏期を快適に過ごす生活の仕方を知らせる。</li> <li>・当番活動は、例年の活動を参考にしながら子どもの実態や思いも取り入れ、無理や負担のない取り組みになるよう配慮する。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜を収穫するまでには様々な過程があるということを知ること、収穫できる喜びを感じられるようにする。</li> <li>・食べ物への感謝の気持ちをもち、食事を残さず食べようとする気持ちを育てる。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園での出来事については丁寧に伝え、友達との関わりを通して、子どもが獲得している力について理解し合い、見守っていけるようにする。</li> <li>・夏の遊びが十分楽しめるよう体調の管理と持ち物の用意などの協力をお願いする。</li> </ul>	

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす遊びに喜んで参加し、繰り返し遊ぶ姿が見られるようになる。</li> <li>・共通の課題に対して、個々に目的をもち、意欲的に取り組むようになる。</li> <li>・クラスのつながりを感じ、友達を励ましたり、認めたりしながら遊びや生活を進めようとする。</li> <li>・誰かのために、何かをしたいという気持ちが強くなり、園全体に関わる活動に意欲的になる。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の力を思いきり発揮することを楽しむ。</li> <li>○共通の目的に向かい、グループやクラス全体で取り組み、充実感や達成感を味わう。</li> <li>○皆のために、役割をもつことに喜びを感じ、認められたことを自信につなげる。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に戸外で体を動かし、全身を使っていろいろな運動に繰り返し挑戦する。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いきり自分の力を出したり、競い合ったりすることを楽しむ。</li> <li>・友達と共通の目的に向かって、気持ちや力を合わせてやり遂げた手応えを味わう。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢の子どもとの関わりの中で思いやりやいたわりの気持ちをもつ。</li> <li>・季節の変化を感じ、身近な自然に興味をもって、見たり触れたりする。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の場でのルールや行動の仕方を理解し、皆で気持ちよく生活できるようにする。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園行事に関心をもち、自分達で進めていこうとする気持ちをもつ。</li> <li>・自分の思いを伝えるだけでなく、相手の話も聞き、その思いを受け入れる。</li> <li>・園行事に向けての活動を通して、表現したり必要なものを制作したりする。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を十分動かして遊べるように、戸外遊びの機会を多く取り入れる。</li> <li>・いろいろな活動を、個々やグループ、クラス全体で取り組む機会をもち、子どもが自分のこととして受け止めていけるようにする。</li> <li>・行事などを通し、役割をもつ中で自己を発揮できるようにする。</li> <li>・自然に触れる機会を多くもち、季節を感じたり、遊びに取り入れたりする。</li> <li>・天候に対応した休息が取れる工夫をする。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の良さや力が発揮できるような場や機会を用意し、喜びや自信、友達から認められる嬉しさを感じられるようにする。</li> <li>・皆で取り組む面白さや嬉しさ、力を合わせる大切さ、役割を果たす喜びを味わえるよう、共感したり、個々の頑張りを認めたりする。</li> <li>・子ども同士の意見のぶつかり合いや葛藤を通して、子どもが自分で乗り越えられるよう励ましたり、見守ったりして、子どもの気持ちを支える。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な生活の場面で、簡単な栄養素とその役割について話題にしながら、食と健康の関係に興味や関心をもてるようにする。</li> <li>・野菜の栽培や世話、収穫を通して、旬の食材があることを知らせる。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会に向けての子ども取り組みの様子を伝え、頑張っている姿を認め、自信や次への意欲につながるような言葉をかけてもらう。</li> </ul>	



子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルールのある遊びの中で、競い合う楽しさを感じるようになる。</li> <li>・ できるようになったことを喜び、いろいろな活動に自信をもって、意欲的に取り組むようになる。</li> <li>・ 友達との関わりの中で、思いがすれ違い、衝突が起こることもあるが、少しずつ、相手の言動を受け入れようとする。</li> <li>・ 仲間意識が深まり、友達と協力したり助け合ったりする姿が見られる。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の力を出すことの心地よさを感じ、十分に体を動かして遊ぶ。</li> <li>○ 皆でする活動を楽しみながら、友達とのつながりを深めたり、互いの良さに気付いたりする。</li> <li>○ 共通の目的に向かって、皆で力を合わせて取り組む。</li> </ul>
経験する内容	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びのルールを確かめたり、工夫したりしながら友達と一緒に集団での遊びを楽しむ。</li> <li>・ 病気の予防に関心を持ち、健康な生活の習慣を身に付ける。</li> </ul>
	生命の保持・情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人ではできないことは、友達と力を出し合ったり助け合ったりする。</li> <li>・ 良いことや、悪いことに気付き、自分で考えて行動する。</li> <li>・ 友達と一緒に共通の目的に向かって考えを出し合いながら、活動を進める。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の人との関わりを通して、様々な人とのつながりに気付く。</li> <li>・ 自然物を使い、工夫して遊ぶ。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活の中で、数量、図形、文字、時間に関心をもつ。</li> <li>・ 場に応じた言葉の使い方や表現の仕方が分かる。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節の変化に気付き、その不思議さや美しさを感じる。</li> <li>・ 絵本や物語、歌などを聞いて、言葉の面白さや響きに関心をもつ。</li> <li>・ 絵本や物語に親しみを持ち、イメージを豊かにし表現する楽しさを味わう。</li> </ul>
感性と表現		
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ できるようになったことを繰り返し楽しむ時間や場を保障する。</li> <li>・ 遊びや生活の中で、友達の良さに気付くような機会や雰囲気を作る。</li> <li>・ 皆で力を合わせたという気持ちもてるように活動の展開を工夫し、友達と協力してやり遂げた満足感、充実感を味わえるようにする。</li> <li>・ 季節の変化に応じて室内の保温、換気をする。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の力を精一杯出して諦めずに取り組む姿を受け止め、励ましたり、共感したりしながら、自信もてるようにする。</li> <li>・ 一人一人の頑張りや良さを認め、クラス全体に知らせることで喜び合う気持ちを育てる。</li> <li>・ 共通の目的を、個々が理解できるよう提示の仕方や話し方などに配慮する。</li> <li>・ 子どもが、皆で力を合わせてできたという実感がもてるよう、必要な時に方向付けたり助言したりする。</li> <li>・ 保育者自らが季節の変化に関心を示しながら、子どもが気付けるようにする。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調理する経験ができるような機会を設け、自分達の口に入るまでの過程を知ることで、食べる喜びや食べ物を粗末にはいけないという気持ちを感じられるようにする。</li> <li>・ 保護者や調理師など、自分達のために日々調理している人達への感謝の気持ちをもてるようにする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面談や懇談会などで、個々が成長した点について伝え、子どもの成長を保護者と共に喜び合う。今後、育てていきたい点についても伝え、子どもの伸びようとする力を支え合っていけるようにする。</li> </ul>	

子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字や数を使って遊ぶことを楽しむなど、知的好奇心が高まってくる。</li> <li>・自分達の遊びを十分楽しみ、主体的に生活する姿が見られる。</li> <li>・修了・卒園を意識したり、入学に期待したりしながら、自信をもって行動する姿が見られる。</li> <li>・小学校への入学を意識し、不安を見せる子どももいる。</li> </ul>
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○思いや考えを様々な方法で豊かに表現し、いろいろな活動に楽しんで取り組む。</li> <li>○友達と共に過ごす喜びを味わい、自分達で見通しをもって遊びや生活を進めていくことを楽しむ。</li> <li>○成長を喜び合い、入学への期待をもつ。</li> </ul>
経験する内容	生命の保持・情緒の安定	
	心身の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と積極的に体を動かす活動に取り組み、皆と一緒に遊ぶ充実感を味わう。</li> <li>・健康で安全な生活に必要な態度を身に付け、自信をもって生活する。</li> <li>・自分が経験してきたことに自信をもち、当番の引継ぎをする。</li> </ul>
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の良さや頑張っていることに気付き、互いに認め合う。</li> <li>・小学校との交流の中で、親しみや憧れの気持ちをもつ。</li> <li>・冬の身近な自然（霜柱、氷、雪、風）に関心をもち、取り入れて遊んだり、春の訪れに気付いたりする。</li> </ul>
	身近な環境との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に見通しをもち、場に応じた行動をとる。</li> <li>・互いの成長を喜び合い、自分達で遊びや生活を作り出す。</li> <li>・経験したことや感じたことを皆に分かるように伝える。</li> </ul>
	言葉の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話をしている相手の思いを受け止めながら聞く。</li> <li>・文字や数を使った遊びを繰り返し楽しみ、自分達の遊びや生活に取り入れる。</li> </ul>
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修了・卒園に対する喜びや感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>
保育者の援助	【環境の構成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に、またクラス全体で、表現や創作を楽しめるような機会を設け、協同で活動する楽しさや充実感を味わえるようにする。</li> <li>・自分の目標に向かって繰り返し取り組めるような活動を提示する。</li> <li>・自分達で、遊びや生活を進められるように時間を保障する。</li> <li>・見通しをもって行動できるよう、時間や生活の流れを分かりやすくするための表示や伝え方を工夫する。</li> <li>・園生活を振り返る機会や環境を子ども達と一緒に作る。</li> <li>・文字や数量に触れられるような機会や活動を作る。</li> <li>・小学校生活に期待がもてるように、小学生と一緒に遊んだり学校見学をしたりする機会をつくる。</li> </ul>
	【保育者の関わり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試したり、発見したり、繰り返し挑戦したりする楽しさを味わい、自分達で取り組んだ充実感が味わえるよう見守る。</li> <li>・集団生活の中で十分に自己を発揮している姿を認め、更なる自信につながるように関わる。</li> <li>・異年齢の子どもと一緒に活動したり遊んだりできるように保育者間で連携を図る。</li> <li>・生活習慣の自立について、一人一人の様子を確認し必要に応じて声をかけながら、自信をもって行うことができるようにする。</li> <li>・就学に向けての期待や不安な気持ちを十分受け止め、個々が自信をもって、入学を楽しみにできるようにする。</li> </ul>
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園生活の中で、健康な食生活に必要な習慣や態度が身に付き、友達と楽しく食事をするができるようになった子ども達の成長を認め、小学校の給食への期待につなげる。</li> <li>・日々行っている様々な活動が、健康な体作りにつながっていることに気付き、食と命との関わりを感じられるようにする。</li> </ul>	
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この時期に見られる不安定な子どもの姿は、就学への不安から来るものであることを伝え、園と家庭とで様子を伝え合いながら、子どもの気持ちを支えていけるようにする。</li> <li>・保護者の不安を受け止め、子どもの成長を喜び合いながら、入学への期待につなげられるようにする。</li> </ul>	